

ラベルプリンタ  
BX410T/BX430T シリーズ  
Web プリンタ仕様書

初版 2024年11月8日

第二版 2024年11月13日

第三版 2024年12月20日

第四版 2025年7月3日

東芝テック株式会社

## 1. 適用

本仕様書は、東芝テック(株)のバーコードプリンタにおける WEBPrinter 機能の仕様に適用する対象のバーコードプリンタは以下の通り

- ・ BX410T シリーズ
- ・ BX430T シリーズ

## 2. 概要

プリンタで WEBPrinter 機能を有効にすると PC のブラウザ上でプリンタのステータス確認、プリンタの設定変更、ファームウェアのダウンロードが可能である。

### 2.1. 必要な設定

WEB PRINTER	有効 / ON
インターフェース	有線 LAN / USB 接続
IP アドレス	任意
サブネットマスク	任意
ゲートウェイ	任意

### 2.2. 準備するもの

#### ・接続環境

下記いずれかの方法で接続する。

有線 LAN

USB 接続

#### ・ブラウザ

サポートブラウザに記載の OS とブラウザを準備する。

### 2.3. 制約条件

WEBPrinter 機能の動作保証に関して、プリンタ動作中での本機能の併用は動作保証しない。

本機能を使用する場合はプリンタが動作していない状態で使用すること。

サポートブラウザに記載されていない OS を使用した場合は動作保証しない。

サポートブラウザに記載されたバージョン以前のブラウザを使用した場合は動作保証しない。

また、そのバージョン以降にてプリンタとの互換性を損なうブラウザ側の変更がある場合は正しく動作しない可能性がある。

WebPrinter で操作を行った際に「内部エラーが発生しました」と表示された場合は、少し時間をおいて再度操作を行うことで解消する場合がある。

## 2.4. サポートブラウザ

WebPrinter では以下の OS、ブラウザ、バージョンの組み合わせをサポートする。

OS	ブラウザ
Windows 11	Google Chrome 106 以降
Windows 10 64bit	Mozilla Firefox 105 以降 Microsoft Edge 106 以降
MacOS	Safari 16 以降
iOS iPad OS	Safari 16 以降
Android	Google Chrome 106 以降

## 3. 操作仕様

### 3.1. 起動

PC のブラウザ（Google Chrome 等のソフトウェアで Java スクリプト対応のもの）を起動し、下記アドレスを入力することによりプリンタへ接続する。

[アドレス]

http://プリンタのIPアドレス/

USB I/FによるWebUtility接続については、4. USB I/FによるWebUtility接続を参照。

### 3.1.1. ログイン方法

[ログイン画面]

仕向けに関係なく、以下ログイン画面が表示される。

The screenshot shows the TOSHIBA Web Utility login interface. At the top left is the TOSHIBA logo. Below it is a blue header bar with the text "Web Utility". In the center, there is a message "Please input User Name & Password". Below this, there are two input fields: "User Name" containing "Admin" and "Password" containing a series of asterisks. To the right of the password field is a "Login" button. At the bottom left is a link "Change Password". At the bottom right is a copyright notice: "©2023 Toshiba Tec Corporation All Rights Reserved."

※ ユーザー名 : Admin、パスワード : 123456

### 3.1.2. 複数ブラウザからのアクセス時の動作仕様について

複数ブラウザからのアクセス要求に対して、仕向地に関わらず、以下動作仕様となる。

1) 最後にアクセスしたブラウザに操作権限が渡る。

2) 操作権限を失ったブラウザ(下記例だとブラウザ A)で、ログイン画面が表示される。

※『Submit』ボタンもしくは、『Send File』ボタン押下時は、エラーダイアログが表示される。

ダイアログ内の OK ボタンを押すと、ログイン画面を表示する。

その他の操作時には、エラーダイアログは表示されず、ログイン画面が表示される。

(例)

ブラウザ A が Web Printer を使用して、あるプリンタにアクセスしている状況で、

ブラウザ B が同プリンタに Web Printer でアクセスした場合、ブラウザ B に操作権限が渡る。

なお、ブラウザ B によるアクセス時にも、ログイン画面が表示される。

※ユーザー名、パスワードが一致しない場合は、ログインは不可能。

## 3.2. 画面仕様

各 WEBPrinter 画面仕様について記述する。

表示画面は全て英語表記となる。

※ブラウザ及びそのバージョンの違いにより表記詳細に若干の違いがあることがある。

(例えば少数点以下の 0 表記など)

### 3.2.1. 起動画面

Chrome 例

**Web Utility**

- Maintenance
  - Maintenance Summary
  - Self Diagnosis
  - Setting
- Download
- Parameter Setting
- Tool
- EMUL-Z
- EMUL-S
- EMUL-D
- PDF Print
- Service

**Maintenance Summary**

Auto Refresh  ON

**BX400T-G**  
**Online**  
IP:192.168.010.020

**Ribbon Status**  
Ribbon 2/6

**Printer Sensor**  
Transmissive Sensor 4.8 V  
Reflective Sensor 1.3 V

**Head Open Sensor**  
Head Close

**Temperature Sensor**  
Head Temperature 27 °C  
81 °F  
Outside Temperature 27 °C  
81 °F

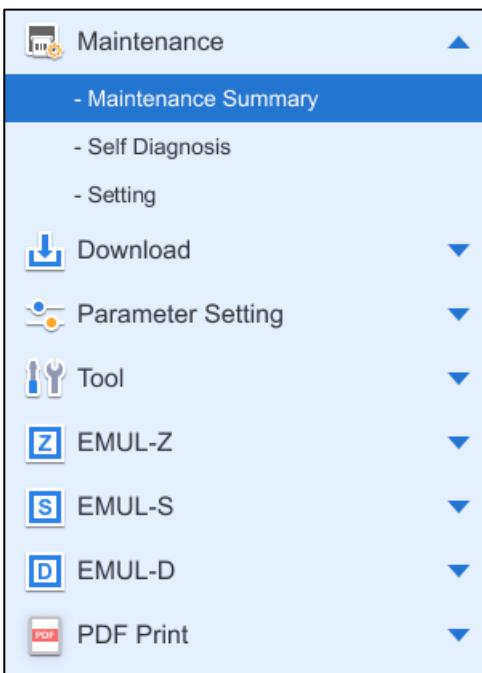
**Paper Width Sensor**  
Paper Width 15.5 mm  
Paper Width Guide 120 mV

**Maintenance Counter**

Total Feed	0.3 km
Feed	0.0 km
Print	0.0 km
Cut Count	0
Head Up / Down Count	0
Ribbon Work Time	0.0 h
Solenoid Work Time	0.0 h
RS-232C Error Count	0
System Error Count	0
Power Failure Count	0

**Buttons:** Feed, Restart, Pause

### 3.2.2. ナビゲーションバー



項目名	内容	備考
Maintenance	プリンタのメンテナンス情報の表示	
Download	ファームウェアのダウンロード	
Parameter Setting	プリンタの各種パラメータの設定	
Tool	ファイルの送信/テスト印刷の発行/クローニング/ アプリケーション	
EMUL-Z	EMUL-Z のパラメータの設定	
EMUL-S	EMUL-S のパラメータの設定	
EMUL-D	EMUL-D のパラメータの設定	
PDF Print	PDF Print のパラメータの設定	

※ “Service” ユーザでログインした場合、上記に加えて Service ユーザ向けメニューが表示される。

### 3.2.3. 配色の切り替え

WebPrinter の配色は配色設定に応じて切り替わる。

配色の種類は以下 2 つ

- Light(デフォルト)
- Dark

設定変更後の切り替えタイミング

WebPrinter からの設定変更後、即時適用される。

### 3.2.4. レスポンシブ表示

モバイル端末から WebPrinter を表示した際、その端末に合わせたレスポンシブ表示を行う。

ナビゲーションバーはハンバーガーメニューで表示され、初期表示ではナビゲーションバーは表示されない。

The image displays two side-by-side screenshots of the Web Utility interface, illustrating its responsive design for mobile devices.

**Left Screenshot (Mobile View):**

- Header:** "Web Utility" and "Maintenance Summary".
- Auto Refresh:** A toggle switch labeled "ON".
- Printer Status:** Shows a printer icon, model "BX400T-G", and status "Online". Below it is the IP address "IP:192.168.010.020".
- Ribbon Status:** Shows "Ribbon" with "2/6" remaining.
- Printer Sensor:** Shows "Transmissive Sensor" at 4.8 V and "Reflective Sensor" at 1.3 V.
- Head Open Sensor:** Shows "Head" in "Close" position.
- Temperature Sensor:** Shows "Head Temperature" at 27 °C (81 °F).
- Buttons:** "Feed", "Restart", and "Pause".

**Right Screenshot (Desktop View):**

- Header:** "Web Utility" and "Maintenance Summary".
- Maintenance Summary:** A list of items:
  - Maintenance
  - Maintenance Summary (highlighted)
  - Self Diagnosis
  - Setting
- Download:** A button with a download icon.
- Parameter Setting:** A button with a gear icon.
- Tool:** A button with a wrench icon.
- EMUL-Z:** A button with a Z icon.
- EMUL-S:** A button with an S icon.
- EMUL-D:** A button with a D icon.
- PDF Print:** A button with a PDF icon.
- Service:** A button with a person icon.
- Temperature:** Shows "Head Temperature" at 27 °C (81 °F).
- Buttons:** "Feed", "Restart", and "Pause".

### 3.3. Maintenance

#### 3.3.1. Maintenance Summary

メンテナンスに利用できる、プリンタ状態、メンテナンスカウンタ等を取得して表示する。

項目名	内容	備考
Printer Status	プリンタの状態を表示 状態が Online である場合、かつエミュレーションモードが OFF 以外の場合はエミュレーションモードも表示する。もし、AUTO 1/2 の場合には最後に実行したエミュレーションモードを表示する。(L1.2 以降)	
Ribbon Status	リボンの使用量を表示 RIBBON 1/6 (リボン使用量が全体の 1/6 程度:使い始め) RIBBON 2/6 (リボン使用量が全体の 2/6 程度) : RIBBON 5/6 (リボン使用量が全体の 5/6 程度) RIBBON 6/6 (リボン使用量が全体の 6/6 程度 : 使い終わり) ※リボン未装着時およびリボンエラー中は、リボン径未検出時点の初期値となるのでリボン使用量とは一致しない	
Printer Sensor	用紙センサーのレベルを表示 Transmissive Sensor : *. *V (透過センサーの入力レベル : 0.0V ~ 5.0V) Reflective Sensor : *. *V (反射センサーの入力レベル : 0.0V ~ 5.0V)	
HeadOpen Sensor	ヘッドアップセンサーの状態を表示 (表示は 3 秒ごとに更新) Close (ヘッドクローズ状態) Open (ヘッドオープン状態)	
Temperature Sensor	プリンタのヘッド温度/周囲温度の表示 (表示は 3 秒ごとに更新)	
Maintenance Counter	走行距離等の各種カウンター値を表示 Total Feed : 小数点第 1 位まで表示 (km) Feed : 小数点第 1 位まで表示 (km) Print : 小数点第 1 位まで表示 (km) Cut Count : 整数で表示 Head Up / Down Count : 整数で表示 Ribbon Work Time : 小数点第 1 位まで表示 (h) Solenoid Work Time : 小数点第 1 位まで表示 (h) RS-232C Error Count : 整数で表示 System Error Count : 整数で表示 Power Failure Count : 整数で表示 (表示は 3 秒ごとに更新)	
Feed, Restart, Pause	操作パネル上のボタンと同じ操作を行う。	

※最新情報を自動取得するためには自動更新のトグルスイッチを有効にすることで可能となる。初期状態は無効。

有効にした場合、定期的にプリンタに問合せを行うためセッションタイムアウトが発生しない。

### Chrome 例

The screenshot shows the 'Web Utility' interface for a BX400T-G printer. The left sidebar has a tree view with 'Maintenance' selected, which is further expanded to show 'Maintenance Summary', 'Self Diagnosis', and 'Setting'. Other options like 'Download', 'Parameter Setting', 'Tool', 'EMUL-Z', 'EMUL-S', 'EMUL-D', 'PDF Print', and 'Service' are also listed. The main content area is titled 'Maintenance Summary' and shows the printer is 'Online' at IP: 192.168.010.020. A 'Maintenance Counter' table provides detailed statistics for various operations. On the right, there are three buttons: 'Feed', 'Restart', and 'Pause'.

#### [エミュレーションモード表示] (L1.2 以降)

状態が Online である場合、かつエミュレーションモードが OFF (TPCL) 以外の場合に Printer Status にエミュレーションモードの表示を行う。

エミュレーションモードが OFF (TPCL) の場合、表示しない。



エミュレーションモードが EMUL-Z、EMUL-S、EMUL-D、EMUL-I の場合、エミュレーションモードを表示する



エミュレーションモードが AUTO 1、AUTO 2 の場合、最後に実行したエミュレーションモードも表示する



### 3.3.2. Self Diagnosis

システムモードの自己診断、パラメータ印字内容を取得して表示すること。

項目名	内容	備考
File Name	プリンタの自己診断内容のファイル名を定義	
Firmware Info	プリンタのファームウェア情報を表示	
Maintenance Counter Info	プリンタの各種パラメータ情報を表示	
Save	表示されている情報を “File Name” で定義した名前で保存 ファイルサイズは 10KB 程度。	

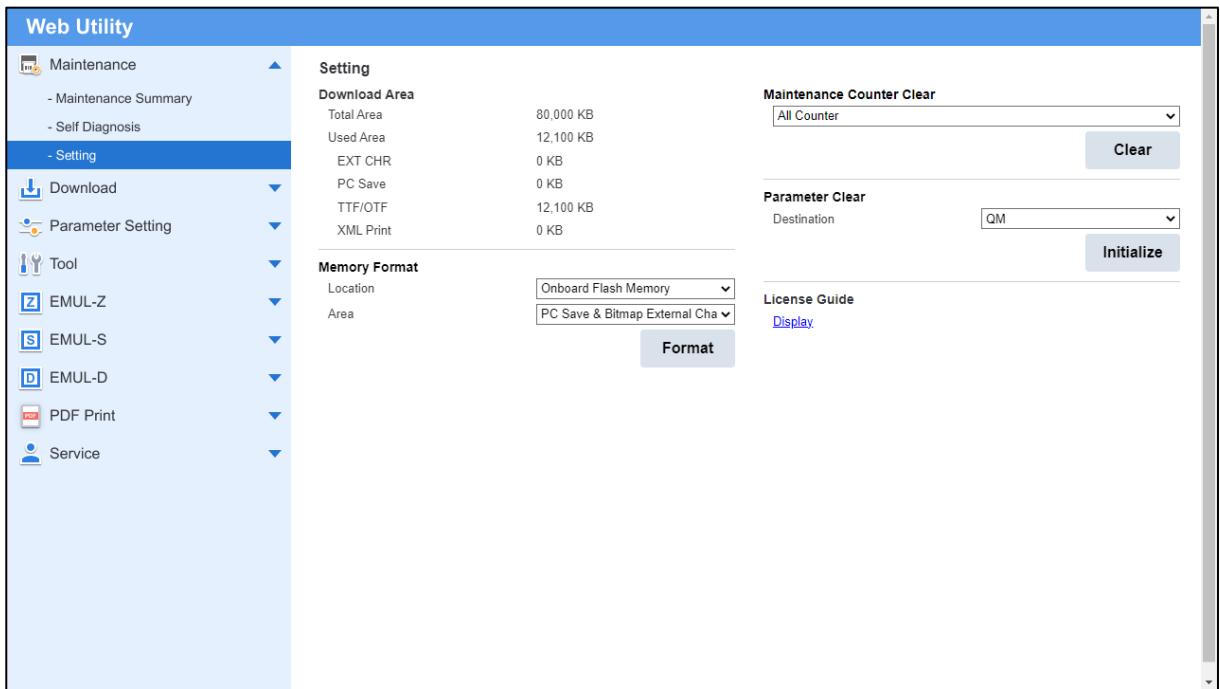
- 1) “EXP. I/O”、“EX. 2320”、“RFID”、“SIO”、“CENTRO”、“BLUETOOTH”、“MFI”的項目は” - ‘が取得される。
- 2) プリンタが” v6L” もしくは” v6G” のアドレス取得に失敗した場合、” 0::0” が表示される。

#### Chrome 例

Firmware Info		Maintenance Counter Info	
<pre> PROGRAM B-EX4T1-G MODEL B-EX4T1-GS12-QM-R PRINTER S/N MAIN 17MAR2021 C4.0B:8200 BOOT 22FB2021 C4.0 :FB00 WMON 250CT2010 V1.0 :6100 FONT ANKOG 8000 KANJI 1B00 CHINESE D100 EEPROM 128B SDRAM 128B SENSOR1 00000000,10001011 SENSOR2 [H]27 C [A]27 C [R]3.2V [T]0.8V PE LV. [R]4.7V [T]0.8V M THRE. [R]0.0V [T]0.0V HEAD [RANK]6 203DPI LAN MAC 00-80-91-e8-8e-f5 EXP.I/O NG EX.2320 NG SIO NG(0111) RFID NG WLAN NG RTC NG USB MEMORY NG </pre>		<pre> &lt;&lt; COUNTER &gt;&gt; TOTAL FEED 0.0km [QM] FEED 0.0km FEED1 0.0km FEED2 0.0km FEED3 0.0km FEED4 0.0km PRINT 0.0km PRINT1 0.0km PRINT2 0.0km PRINT3 0.0km PRINT4 0.0km CUT 0 RIBBON 0h 232C ERR 0 SYSTEM ERR 0 POWER FAIL 0 &lt;&lt; ADJUST &gt;&gt; [PC] [KEY] FEED +0.0mm FEED +0.0mm CUT +0.0mm CUT +0.0mm BACK +0.0mm BACK +0.0mm TONE(T) +0step TONE(T) +0step TONE(D) +0step TONE(D) +0step (RIBBON TORQUE NORM) </pre>	

Save

### 3.3.3. Setting



#### 【Download Area】

##### [Total Area]

登録系エリアのトータルサイズが表示される。

この設定は変更できない。

##### [Used Area]

登録エリアの使用サイズが表示される。

この設定は変更できない。

##### [EXT CHR]

外字登録エリア使用サイズが表示される。

この設定は変更できない。

##### [PC Save]

PC セーブエリア使用サイズが表示される。

この設定は変更できない。

##### [TTF/OTF]

TTF/OTF セーブエリア使用サイズが表示される。

この設定は変更できない。

##### [XML Print]

XML Print Data エリア使用サイズが表示される。

この設定は変更できない。

#### 【Memory Format】

プリンタがビジー状態の時にこの操作を行うとエラーメッセージが表示される。

##### [ビジー条件]

- クローニング作成・インストール実行中
- ファームウェアインストール中
- ジョブ実行中
- アプリケーションインストール・アンインストール実行中
- アプリケーション実行中
- ステータスがオンラインモード及び省電力中ではない場合

##### [エラーメッセージ]

プリンターが動作中のため操作を実行できません。

#### [Location]

フォーマットの対象を指定する。

工場出荷時	Onboard Flash Memory
設定項目	Onboard Flash Memory, USB Memory

#### [Area]

フォーマットエリアを指定する。

工場出荷時	PC Save & Bitmap External Character
設定項目	PC Save & Bitmap External Character, PC Save, Bitmap External Character

#### 【Maintenance Counter Clear】

対象を指定してメンテナンスカウンタ情報をクリアする。

プリンタがビジー状態の時にこの操作を行うとエラーメッセージが表示される。

##### [ビジー条件]

- クローニング作成・インストール実行中
- ファームウェアインストール中
- ジョブ実行中
- アプリケーションインストール・アンインストール実行中
- アプリケーション実行中
- ステータスがオンラインモード及び省電力中ではない場合

##### [エラーメッセージ]

プリンターが動作中のため操作を実行できません。

工場出荷時	All Counter
-------	-------------

設定項目	All Counter, Feed Distance (FEED), Print Distance (PRINT), Cut Count (CUT), Others (other than FEED, PRINT, CUT)
------	--

### 【Parameter Clear】

#### [Destination]

仕向地を指定してパラメータをクリアする。

プリンタがビジー状態の時にこの操作を行うとエラーメッセージが表示される。

#### [ビジー条件]

クローニング作成・インストール実行中

ファームウェアインストール中

ジョブ実行中

アプリケーションインストール・アンインストール実行中

アプリケーション実行中

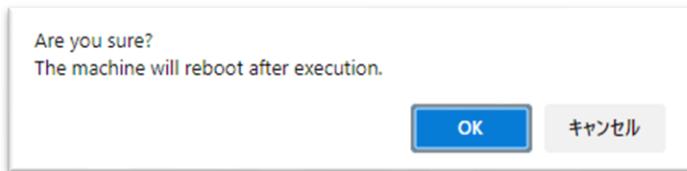
ステータスがオンラインモード及び省電力中ではない場合

#### [エラーメッセージ]

プリンターが動作中のため操作を実行できません。

工場出荷時	QM
設定項目	JA (現仕向けが JA の場合) QM, CN, QQ (現仕向けが QM, CN, QQ の場合)

仕向けを設定し、"Initialize"ボタンを押すと下記のメッセージが表示され、初期化処理を実行する。



Parameter Clear を実行した後は、パネルで RAM Clear を実行した時と同じ動作となる。

(Wizard Mode 実行等)

### 【License Guide】

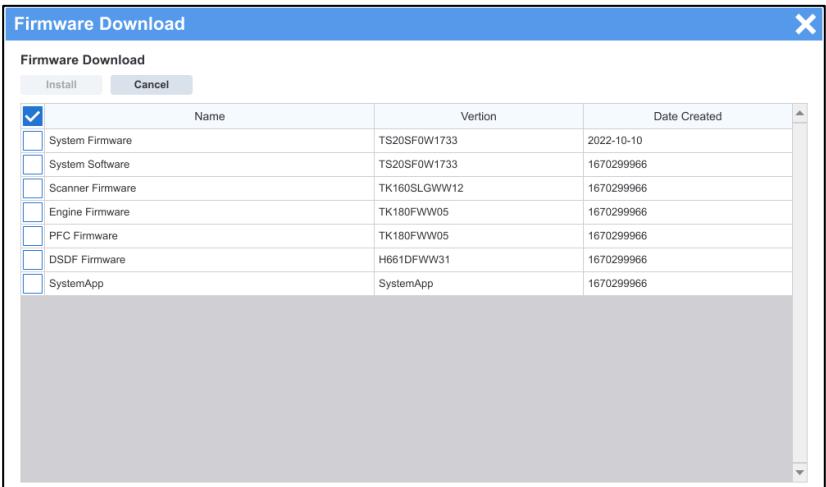
#### [Display]

ライセンスガイドを表示する。

### 3.4. Download

#### 3.4.1. Firmware Download

ファームウェアをダウンロードする。

項目名	内容	備考
Select File	ダウンロードするファームウェアの選択を行う。	WebPrinter からは zip ファイルを指定する。
Install	<p>ファームウェアのダウンロード開始 [Install]をクリックすると、指定した ROM ファイルに含まれるファームウェア一覧がポップアップ上に表示される。</p>  <p>更新するファームウェアを選択して [Install] を選択するとファームウェアの更新が開始される。更新が開始されると以下メッセージが表示される。</p>  <p>途中でケーブルを抜くようなことは避けること。 ファームウェアの更新中にプリンタの電源が切れた場合、プリンタが起動しなくなる場合がある。プリンタが正常に起動する場合、再度ダウンロードを行うこと。 ROM ファイルの読み込みに失敗、または、ダウンロードデータの生成に失敗した場合、エラーメッセージが表示される。</p> <p>プリンタがビジー状態の時にこの操作を行うとエラーメッセージが表示される。 [ビジー条件] クローニング作成・インストール実行中</p>	

	ファームウェアインストール中 ジョブ実行中 アプリケーションインストール・アンインストール実行中 アプリケーション実行中 ステータスがオンラインモード及び省電力中ではない場合 <b>[エラーメッセージ]</b> プリンターが動作中のため操作を実行できません。	
Rom List	プリンタにダウンロードするファームウェアの ROM ファイルが表示	

※ Windows10 64bit 以外の OS を使用した場合、ファームウェアサイズによってはエラーになる。

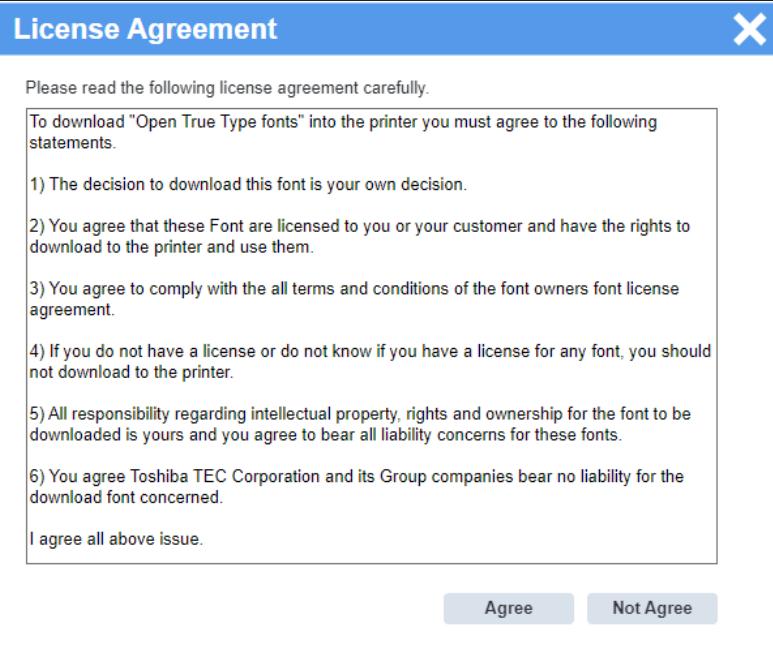
### Chrome 例

Name	Version	Date Created	Date Installed
System Firmware	Xxxxxxxxxxxxxxxxxx	2024-04-08	
System Software	Xxxxxxxxxxxxxxxxxx	2024-04-08	
Engine Firmware	Xxxxxxxxxxxxxxxxxx	2024-04-08	

#### 3.4.2. OpenTypeFont

OpenTypeFont データをダウンロードする。

項目名	内容	備考
Downloaded Font	プリンタにインストール済みのフォント一覧を表示する。 画面の表示時に一覧を取得して表示を行う。再取得する場合は、画面を再読み込みすること。 Over Write をチェックした場合、Downloaded Font の全てのチェックボックスと Clear ボタンがグレーアウトされる。その状態で Start Download を実行すると新規フォントを追加する前に現状のフォントがすべて削除される。	
Add Font	追加する OpenTypeFont または TrueTypeFont 一覧を表示する。	
Add	Add Font に OpenTypeFont または TrueTypeFont を追加する。 [Add] をクリックするとファイル選択ダイアログが表示される。	

	選択できるファイルは拡張子が「*.otf」または「*.ttf」である。 「Downloaded Font」または「Add Font」にリストされているフォント名と同名のフォントを追加することはできない。	
Clear	Add Font一覧をクリアする。	
Start Download	<p><b>License Agreement</b></p>  <p>Please read the following license agreement carefully.</p> <p>To download "Open True Type fonts" into the printer you must agree to the following statements.</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) The decision to download this font is your own decision.</li> <li>2) You agree that these Font are licensed to you or your customer and have the rights to download to the printer and use them.</li> <li>3) You agree to comply with the all terms and conditions of the font owners font license agreement.</li> <li>4) If you do not have a license or do not know if you have a license for any font, you should not download to the printer.</li> <li>5) All responsibility regarding intellectual property, rights and ownership for the font to be downloaded is yours and you agree to bear all liability concerns for these fonts.</li> <li>6) You agree Toshiba TEC Corporation and its Group companies bear no liability for the download font concerned.</li> </ol> <p>I agree all above issue.</p> <p style="text-align: center;"><input type="button" value="Agree"/> <input type="button" value="Not Agree"/></p>	

「Downloaded Font」リストに追加したファイルのダウンロードを実行する。

[Start Download] をクリックすると、使用許諾確認メッセージが表示される。

「Agree」をクリックするとダウンロードが開始する。

「Not Agree」をクリックすると、中止する。

途中でケーブルを抜くようなことは避けること。

OpenTypeFont ダウンロードする場合、途中で電源が切れることがないようにすること。

ダウンロード中にプリンタの電源が切れた場合、再度ダウンロードを行うこと。

プリンタがビジー状態の時にこの操作を行うとエラーメッセージが表示される。

#### [ビジー条件]

クローニング作成・インストール実行中

ファームウェアインストール中

ジョブ実行中

アプリケーションインストール・アンインストール実行中

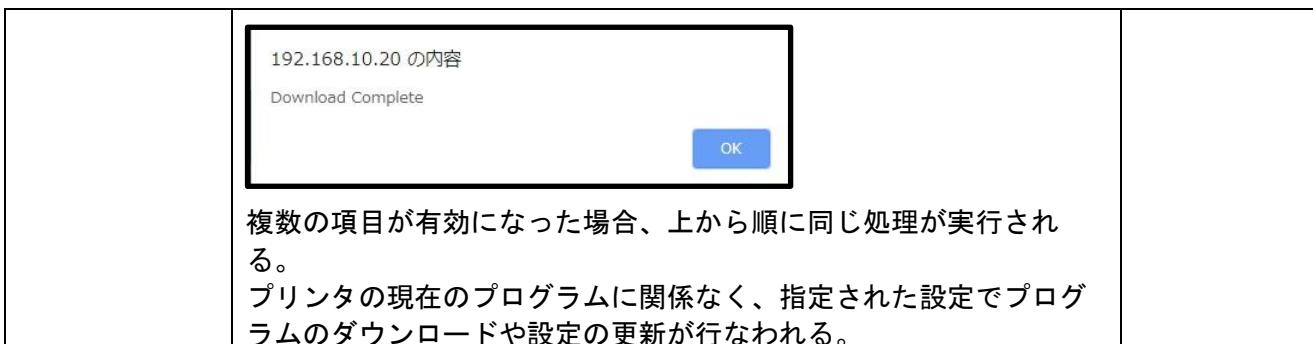
アプリケーション実行中

#### [エラーメッセージ]

プリンターが動作中のため操作を実行できません。

有効な設定がされていない場合、無効になる。

プログラムやデータをプリンタに送信後に下記表示されるが、プリンタの LCD 表示でプログラムの書き換えが完了するまで待機すること。



- ※ Open Type Font のダウンロードは、プリンタ側の制御コードの設定、ツール側の制御コードの設定とともに、“自動”に設定して行うこと。
- ※ プリンタ側のモードが Emulation となっている場合は、強制的に TPCL モードに移行してダウンロードする。ダウンロード後は、TPCL モードのままとなるため使用するモードに変更すること。

### Chrome 例

**Web Utility**

- Maintenance
- Download
  - Firmware Download
  - Open Type Font
  - XML Print
- Parameter Setting
- Tool
- EMUL-Z
- EMUL-S
- EMUL-D
- PDF Print
- Service

**Open Type Font**

File Name	File Size
CJK.TTF	16044 KB
NotoSans-Black.TTF	460 KB
NotoSans-Bold.TTF	448 KB
NotoSans-Italic.TTF	276 KB
NotoSans-Medium.TTF	444 KB
NotoSerifJP-Reg.OTF	6032 KB
NotoSerif-Reg.TTF	344 KB

**Add Font**

File Name	File Size
NewFont.TTF	16276 KB

**Total**

Number of Files	8
Total File Size	40324 KB
Free Buffer Size	3552 KB

**Buttons:** Over Write, Clear, Add, Clear, Start Download

この画面に表示されるフォント数とフォントサイズは以下の通りとなる。

#### [Downloaded Font]

Font Number : Downloaded Font 内の合計数

Font Size : Downloaded Font 内のチェックされたフォントの合計サイズ

#### [Add Font]

Font Number : Add Font 内の合計数

Font Size : Add Font 内の合計サイズ

#### [Total]

Font Number : Downloaded Font 内の合計数 + Add Font 内の合計数

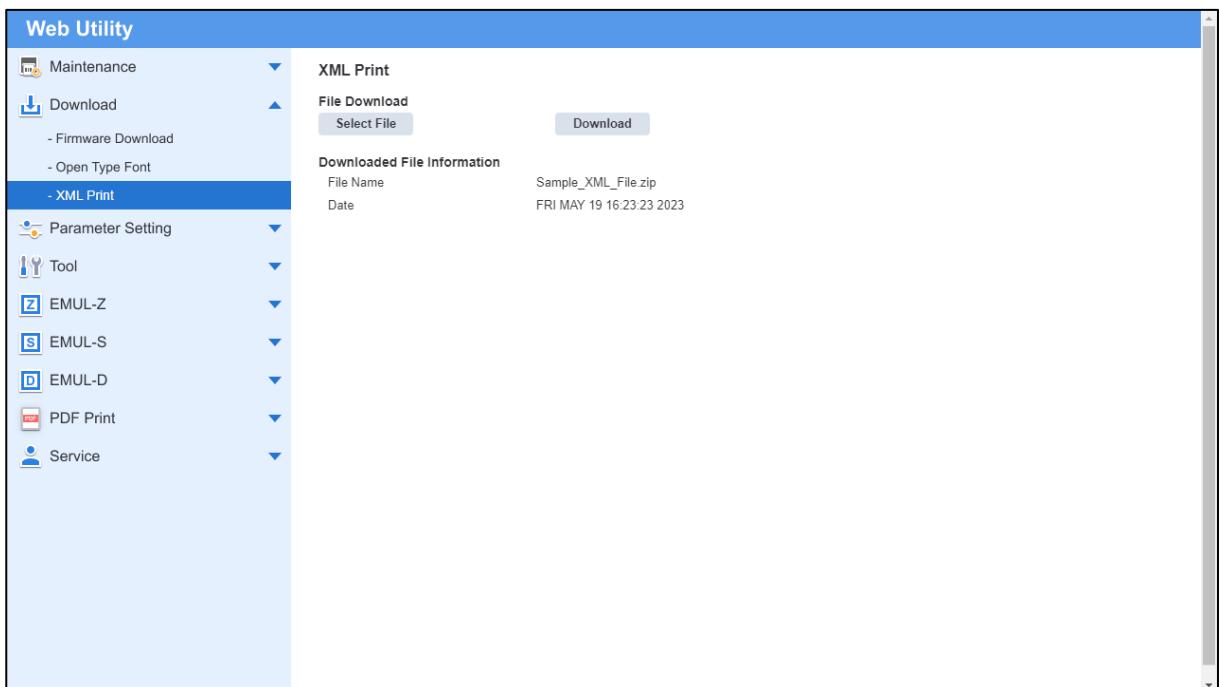
Font Size : Downloaded Font 内のチェックされたフォントの合計サイズ + Add Font 内の合計サイズ

Free Buffer Size : プリンタ内の空きバッファサイズ + Add Font 内の合計サイズ

### 3.4.3. XML Print

XML Print で使用する XML ファイルをダウンロードする。

項目名	内容	備考
File Download	機体にダウンロードする XML ファイルを選択する。 クリックすると、ファイルの選択画面が表示される。任意のファイルを指定して [Download] をクリックすると、選択されたファイルがプリンタに送信される。 完了するとファイルの情報が表示される。	
File Name	ダウンロードされたファイルのファイル名が表示される。	
Date	ダウンロードされたファイルの作成日時が表示される。	



### 3.4.4. Background Image / 背景イメージ

A-BRID L1.1 以降

LCD Panel のオンライン画面で使用する Image Data ファイルをダウンロードする。

項目名	内容	備考																								
イメージ番号	1 から 8																									
File Download	<p>機体にダウンロードするイメージファイルを選択する。</p> <p>クリックすると、ファイルの選択画面が表示される。任意のファイルを指定して [Download] をクリックすると、選択されたファイルがプリンタに送信される。</p> <p>完了するとファイルの情報が表示される。</p> <p>選択できるファイルは拡張子が「*.png」である。</p> <p>ファイルサイズは最大 1.5MB。</p> <p>png 以外のファイルはエラーとなる。</p> <p>初期に設定されている名称のファイルを使用した場合はエラーとなる。</p> <p>同名のファイルがダウンロードされた場合、同名のファイルがすべて更新される。</p> <p>ファイル名には ASCII 文字を使用することが推奨される。それ以外の文字が含まれる場合、本体パネルで文字化けが起きる可能性がある。</p> <p>下記の名称は使用不可。</p> <p>1_Blue.png 2_NavyBlue.png 3_White.png 4_TwoTone.png 5_Clean.png 6_Modern.png 7_Wood.png 8_Flower.png</p>																									
フォント色	イメージファイルとともに設定するフォント色を選択する。																									
登録済ファイル情報	<p>登録済のファイルとフォント色の情報が表示される。（番号と名称）</p> <p>初期状態では下記のように表示される</p> <table> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>1_Blue</td> <td>White</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>2_NavyBlue</td> <td>White</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>3_White</td> <td>Black</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4_TwoTone</td> <td>Black</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5_Clean</td> <td>White</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>6_Modern</td> <td>White</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>7_Wood</td> <td>White</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>8_Flower</td> <td>White</td> </tr> </tbody> </table>	1	1_Blue	White	2	2_NavyBlue	White	3	3_White	Black	4	4_TwoTone	Black	5	5_Clean	White	6	6_Modern	White	7	7_Wood	White	8	8_Flower	White	
1	1_Blue	White																								
2	2_NavyBlue	White																								
3	3_White	Black																								
4	4_TwoTone	Black																								
5	5_Clean	White																								
6	6_Modern	White																								
7	7_Wood	White																								
8	8_Flower	White																								

デフォルトに戻す	ダウンロードしたイメージファイルを削除し、初期状態に戻す。	
----------	-------------------------------	--

**Web Utility**

No	Background Image File	Font Color
1	1_Blue	White
2	2_NavyBlue	White
3	3_White	Black
4	4_TwoTone	Black
5	5_Clean	White
6	6_Modern	White
7	7_Wood	White
8	8_Flower	White

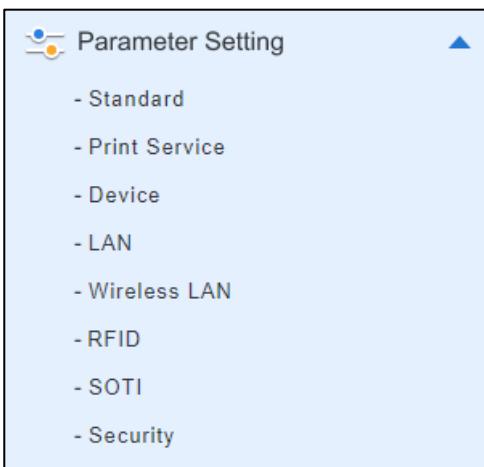
**Registered File Information**

Reset to Default

### 3.5. Parameter Setting

プリンタの各種パラメータの設定、取得を行う。

「ナビゲーションバー」のVをクリックすると、「ページリスト」が表示される。



#### ページリスト

プリンタの各種パラメータの値を確認、更新するために、種類や用途により、ページに区分けられている。

ページリスト内の各ページを指定すればアクティブ表示になり、各ページも表示され、選択や入力により値の変更が可能になる。

ページ表示時にそのページのプリンタ設定内容をプリンタから取得する。

各ページには下記ボタンがあり、SUBMIT ボタンによりプリンタの設定を更新することができる。

項目名	内容	備考
Reset to Default	設定内容を破棄し工場出荷時の設定値に戻す	Wireless LAN のみ
Submit	<p>プリンタのパラメータの設定値を更新する。 画面の設定が間違っていた場合、エラーメッセージが表示される。</p> <p>XXX.XXX.XXX.XXX says Start to submit?</p> <p>OK Cancel</p> <p>確認画面から OK を押すと。更新が始まる。 更新が完了するとページ内容が更新される。</p> <p>以下ページではジョブが存在する場合に Submit できない Print Service Device LAN Wireless LAN</p>	
Reset	各種パラメータをページ表示時に取得した設定値に戻す	

### 3.5.1. Standard

#### Chrome 例

**Web Utility**

Standard		Action
<b>Information</b>	Name: barcode Printer Model: BX400 Serial Number: 0000 Mac Address: xx:xx:xx:xx:xx:xx Location: <input type="text"/> Geo Location: geo 90,180 Contact Information: <input type="text"/> Service Phone Number: <input type="text"/>	Media Load: Disable Forward Wait: Disable Forward Wait POS: 0 <input type="button"/> <input type="button"/> Forward/Back Action: <input type="button"/> Head Up Cut: Disable Rewinder: Disable Back Feed Speed: Standard Cut Mode: TYPE 1 Multi Label: OFF Reprint After Error: OFF
<b>Image</b>	Font Code: PC-850 Zero Font: Without Slash Euro Font: B0 <input type="button"/> <input type="button"/> MaxiCode: TYPE 1 Kanji Code: TYPE 1	LCD Language: English <input type="button"/> LCD Contrast: 40 <input type="button"/> <input type="button"/> Machine Name: Display Print Page: Display IP Address: Display Background Image: 1 <input type="button"/> Dark/Light: Light Feed Length Alert: 3200 <input type="button"/> <input type="button"/> Total Feed Length Alert: 3200 <input type="button"/> <input type="button"/>
<b>Supply</b>	Energy Type (Trans): <input type="button"/> Energy Type (Direct): <input type="button"/> Ribbon Near End: Disable <input type="button"/> Paper Near End: Disable <input type="button"/> Label Ribbon End: TYPE 1 <input type="button"/> Ribbon Save: <input type="button"/>	Tone Adjustment: Tone Adjust (Trans) <input type="button"/> <input type="button"/> <b>ISSUE CONTROL</b> <input type="button"/> <input type="button"/>
<input type="button"/> Submit <input type="button"/> Reset		

#### 【Information】

##### [Name]

バーコードプリンターの装置名が表示される。

この設定は変更できない。

##### [Printer Model]

バーコードプリンターのモデル名が表示される。

この設定は変更できない。

##### [Serial Number]

プリンタ固有の番号が表示される。

この設定は変更できない。

##### [MAC Address]

MAC アドレスが表示される。

この設定は変更できない。

##### [Location]

設置場所を設定する。

工場出荷時	
-------	--

設定範囲	0~64 文字
------	---------

#### [Geo Location]

位置情報を設定する。

工場出荷時	geo:90, 180
設定範囲	0~64 文字 全角不可

#### [Contact Information]

管理担当者の情報を設定する。

工場出荷時	
設定範囲	0~64 文字

#### [Service Phone Number]

サービス担当者の電話番号情報を設定する。

工場出荷時	
設定範囲	0~32 文字 数値のみ 全角不可

#### 【Image】

##### [Code Page]

プリンタフォントに適用する文字コード表を設定する。

工場出荷時	PC-850
設定項目	PC-850、PC-8、PC-852、PC-857、PC-851、PC-855、PC-1250、PC-1251、PC-1252、PC-1253、PC-1254、PC-1257、LATIN9、Arabic、PC-866、UTF-8

#### [Zero Font]

プリンタフォントのキャラクタ “0” にスラッシュを付けるか否かを設定する。

但し、以下のフォントは設定に関係なくスラッシュ無しになる。

<ビットマップフォント> OCR-A、OCR-B、ゴシック 725 ブラック、漢字、中国語

<アウトラインフォント> 價格フォント1、價格フォント2、價格フォント3、Dutch 801、Brush 738、Gothic 725、True Type フォント

工場出荷時	0 (without slash)
設定項目	0 (without slash), Ø (with slash)

#### [Euro Font Code]

プリンタフォントで EURO フォントに割り当てる文字を HEX 形式で設定する。

入力は 2 文字固定の “0” から “F” の半角文字で行なうこと。

大文字と小文字の区別はない。

2 文字で 1 文字の HEX を表す。 (例：“0” → “30”、“A” → “41” )

工場出荷時	B0
設定範囲	20～FF

[MaxiCode]

バーコードフォントの MaxiCode を作成する種別を設定する。

工場出荷時	Compatible
設定項目	Compatible、Special Spec

[Kanji Code]

漢字フォントのコードの仕様を設定する。

工場出荷時	Windows
設定項目	Windows、Original

【Supply】

[Energy Type (Thermal Transfer)]

リボン発行時に使用する熱制御を設定する。

工場出荷時	Semi resin1
設定項目	Semi resin1, Semi resin2, Resin1, Resin2

[Energy Type (Direct Thermal)]

感熱発行時に使用する熱制御を設定する。

工場出荷時	Normal
設定項目	Normal

[Ribbon Near End]

リボンニアエンドを検出する条件を設定する。

工場出荷時	Disable
設定項目	Disable, 30m, 70m

[Paper Near End]

用紙ニアエンドを検出するかを設定する。

工場出荷時	Disable
設定項目	Disable, Enable

[Paper/Ribbon end]

用紙、または、リボンの終了検出時の停止動作を設定する。

工場出荷時	Stop immediately
設定項目	Stop immediately、Stop after print

#### [Ribbon Save]

リボンを節約する機能を有効にするかを設定する。

工場出荷時	Disable
設定項目	Disable, Tag, Label, Tag2, Label2

#### [Type of Ribbon]

リボンタイプを設定する。

工場出荷時	CS0
設定項目	CS0, CSI

#### 【Action】

##### [Media Load]

頭だし機能を有効にするか否かを設定する。

工場出荷時	Disable
設定項目	Disable, Standard, ECO, ECO (with Back Feed)

##### [Move to tearoff]

発行後に自動正転を待機するか否かを設定する。

“有効”に設定した場合、発行後1秒以上アイドル状態が続くと自動的にヘッドーティアバー間距離を正転する。

工場出荷時	Disable
設定項目	Disable, Enable (L1.0) Disable, Enable With Delay, Enable Instant (L1.1以降)

##### [Move to Tearoff Position]

[Move to tearoff]を“有効”に設定した場合の自動的に正転するヘッドーティアバー間距離に対する調整値を0.1mm単位で設定する。

工場出荷時	0.0 mm
設定範囲	-5.0～+5.0 mm

##### [Forward/Back Action]

[Move to tearoff]を“有効”に設定した場合に使用される待機動作を設定する。

※RFID非対応モデルでは“RFID”オプションを表示しない

工場出荷時	Normal
設定項目	Normal, Short cut label, RFID

##### [Head Up Cut]

カット発行時にヘッドアップしてカットするかを設定する。

工場出荷時	Disable
-------	---------

設定項目	Disable, Enable
------	-----------------

[Rewinder]

リワインダを使用するかを設定する。

工場出荷時	Disable
設定項目	Disable, Enable

[Back Feed Speed]

バックフィード動作時の搬送速度を設定する。

工場出荷時	3 inch/sec
設定項目	3 inch/sec, 2 inch/sec

[Cut Mode]

カットモード機能を設定する。

工場出荷時	Standard Action
設定項目	Standard Action, Conventional Action

[Multi Label]

ラベル複数枚取り機能を設定する。

工場出荷時	OFF
設定項目	OFF, ON

[Reprint After Error]

エラー後のリスタートを設定する。

工場出荷時	ON
設定項目	OFF, ON, Job Cancel※

※Job Cancel は予約（指定された場合は Disable となる）。

【Display】

[LCD Language]

LCD に表示するメッセージの言語を設定する。

工場出荷時	English
設定項目	English, German, French, Dutch, Spanish, Japanese, Italian, Portuguese, Simplified Chinese, Korean, Turkey, Polish, Russian, Czech

[LCD Contrast]

LCD に表示するときの濃度を設定する。

工場出荷時	0
設定範囲	0~3

[Machine Name]

LCD に機種名を表示するか否かを設定する。

工場出荷時	Display
設定項目	Hide, Display

[Print Page]

LCD に印刷枚数を表示するか否かを設定する。

工場出荷時	Display
設定項目	Hide, Display

[IP Address]

LCD に IP アドレスを表示するか否かを設定する。

工場出荷時	Display
設定項目	Hide, Display

[Background Image]

LCD の背景画像を設定する。

工場出荷時	1
設定範囲	1~8

[Dark/Light]

LCD の配色を設定する。

工場出荷時	Light
設定項目	Dark, Light

[Feed Length Alert]

警告を行う走行距離を設定する。

工場出荷時	3200
設定範囲	1~3200

[Total Feed Length Alert]

警告を行う総走行距離を設定する。

工場出荷時	3200
設定範囲	1~3200

【ISSUE CONTROL】

[Sensor]

工場出荷時	COMMAND
設定項目	COMMAND, NO, REFLECTIVE, TRANSMISSIVE, TR_Threshold 1, TR_Threshold 2, TR_Threshold 3, TR_Threshold 4, TR_Threshold 5, RE_Threshold 1, RE_Threshold 2, RE_Threshold 3, RE_Threshold 4, RE_Threshold 5

[Mode]

工場出荷時	COMMAND
設定項目	COMMAND, BATCH, CUT, PEEL OFF, PEEL OFF (Applicator)

[Print Speed]

工場出荷時	COMMAND
設定項目	COMMAND, 3 inch/sec, 5 inch/sec, 8 inch/sec, 10 inch/sec, 12 inch/sec, 14 inch/sec

[Ribbon]

工場出荷時	COMMAND
設定項目	COMMAND, NO (Direct), YES

[Direction]

工場出荷時	COMMAND
設定項目	COMMAND, BOTTOM, TOP, BOTTOM/Mirror, Top/Mirror

[Auto Status Response]

工場出荷時	COMMAND
設定項目	COMMAND, OFF, ON

【Power】

[Sleep Timer]

プリンタが未使用時、省電力モードに移行するまでの時間を設定する。

省電力移行時間の最大値以上を指定した場合、最大値に補正する。

工場出荷時	15 Min
設定範囲	1 to 120 Min (BX410/420/610/620) 1 to 60 Min (BX430)

## 【Web Utility】

### [Session Timer]

Web Printer のセッションタイムアウト時間を設定する。

工場出荷時	10
設定範囲	5~999

### [Dark/Light]

WebPrinter の配色を設定する。

工場出荷時	Light
設定項目	Dark, Light

## 【Control】

### [Feed Key]

[FEED] キーを押した場合の動作を設定する。

工場出荷時	Feed
設定項目	Feed, Print

### [Auto Head Check]

電源投入時に自動で断線チェックを行なうか否かを選択する。

工場出荷時	Disable
設定項目	Disable, Enable

### [EX I/O Mode]

拡張 I/O の仕様を設定する。

工場出荷時	Standard
設定項目	Standard, Inline

### [Auto Calibration]

オートキャリブレーション動作による用紙の検出を有効にするか否かを設定する。

工場出荷時	Disable
設定項目	Disable, Transmissive Sensor, Reflective Sensor, All Sensor, Transmissive Sensor (with Back Feed), Reflective Sensor (with Back Feed), All Sensor (with Back Feed)

## 【Position Adjustment】

### [Feed Adjust]

停止位置に対する微調整を 0.1mm 単位で設定する。 (KEY による微調)

マイナス値の場合、ゼロ位置に対して手前で停止する。

PC の値が左側のボックスに表示される。

工場出荷時	0.0 mm
設定範囲	-50.0～+50.0 mm

#### [Cut/Peel Adjust]

カット（又は剥離位置）に対する微調整を 0.1mm 単位で設定する。（KEY による微調）  
 マイナス値の場合、ゼロ位置に対して手前でカット（剥離）する。  
 PC の値が左側のボックスに表示される。

工場出荷時	0.0 mm
設定範囲	-50.0～+50.0 mm

#### [Back Adjust]

バックフィード量に対する微調整を 0.1mm 単位で設定する。（KEY による微調）  
 マイナス値の場合、用紙を戻す方向のフィード量が減る。  
 PC の値が左側のボックスに表示される。

工場出荷時	0.0 mm
設定範囲	-9.9～+9.9 mm

#### [X-coordinate]

X 方向座標微調に対する微調整を 0.1mm 単位で設定する。

工場出荷時	0.0 mm
設定範囲	-99.9～+99.9 mm

### 【Tone Adjustment】

#### [Tone Adjust (Thermal Transfer)]

リボン発行時の印字濃度に対する微調整を設定する。（KEY による微調）  
 PC の値が左側のボックスに表示される。

工場出荷時	0
設定項目	-20～+10 (BX400 series) -20～+20 (BX600 series)

#### [Tone Adjust (Direct Thermal)]

感熱発行時の印字濃度に対する微調整を設定する。（KEY による微調）  
 PC の値が左側のボックスに表示される。

工場出荷時	0
設定項目	-20～+10 (BX400 series) -20～+20 (BX600 series)

### 【Peel Off】

#### [Peel Off Status]

剥離発行時に剥離待ちステータスを返すか否かを設定する。

工場出荷時	Disable
設定項目	Disable, Enable

[Pre Peel Off]

剥離発行時にプレ剥離動作をするか否かを設定する。

工場出荷時	Disable
設定項目	Disable, Enable

[Pre Peel Off Position]

工場出荷時	0.0
設定項目	-2.5 ~ 9.9

[Peel Off Torque]

剥離トルクを設定する。

工場出荷時	R0
設定項目	R0(弱い), R1, R2, R3(強い)

[Peel-Off Print Wait]

剥離発行時の待機時間を設定する。

工場出荷時	Normal
設定項目	Normal, Shorter

[Peel-Off Speed Adjustment]

剥離モータの速度を微調整する。

工場出荷時	0
設定項目	-255 ~ 255

### 【Sensor Adjustment】

#### [Reflective Sensor Threshold 1-5]

反射センサーの出力に対するしきい値の微調整を 0.1V 単位で設定する。

工場出荷時	1.0 V
設定範囲	0.0~4.0 V

#### [Transmissive Sensor Threshold 1-5]

透過センサーの出力に対するしきい値の微調整を 0.1V 単位で設定する。

工場出荷時	1.4 V
設定範囲	0.0~4.0 V

### 【Ribbon Adjustment】

#### [Ribbon Torque]

リボンの幅を設定する。

工場出荷時	Normal
設定項目	Normal, Low

#### [Front Ribbon Motor (Normal Torque)]

リボンの巻き取り側のモータ駆動電圧に対する微調整を設定する。 (KEY による微調)  
PC の値が左側のボックスに表示される。

この設定はリボン幅が Normal のときに使用される。

工場出荷時	0
設定範囲	-15~10

#### [Front Ribbon Motor (Low Torque)]

リボンのバックテンション側のモータ駆動電圧に対する微調整を設定する。 (KEY による微調)

PC の値が左側のボックスに表示される。

この設定はリボン幅が Normal のときに使用される。

工場出荷時	0
設定範囲	-15~10

#### [Rear Ribbon Motor (Normal Torque)]

リボンの巻き取り側のモータ駆動電圧に対する微調整を設定する。 (KEY による微調)  
PC の値が左側のボックスに表示される。

この設定はリボン幅が Low のときに使用される。

工場出荷時	0
設定範囲	-15~10

#### [Rear Ribbon Motor (Low Torque)]

リボンのバックテンション側のモータ駆動電圧に対する微調整を設定する。（KEYによる微調）

PC の値が左側のボックスに表示される。

この設定はリボン幅が Low のときに使用される。

工場出荷時	0
設定範囲	-15～10

#### 【Command】

##### [Control Code]

コマンドの解析に使用する制御コードを設定する。

工場出荷時	AUTO
設定項目	AUTO, [ESC] [LF] [NUL], {   }, MANUAL, IBM HOST, IBM HOST US

##### [Manual Code1]

[Code] を“手動”に設定した場合、1 バイト目に使用するコードを HEX 形式で設定する。

入力は 2 文字固定の “0” から “F” の半角文字で行うこと。

大文字と小文字の区別はない。

2 文字で 1 文字の HEX を表す。（例：“0” → “30”、“A” → “41”）

工場出荷時	1B
設定範囲	00～FF

##### [Manual Code2]

[Code] を“手動”に設定した場合、2 バイト目に使用するコードを HEX 形式で設定する。

入力は 2 文字固定の “0” から “F” の半角文字で行うこと。

大文字と小文字の区別はない。

2 文字で 1 文字の HEX を表す。（例：“0” → “30”、“A” → “41”）

工場出荷時	0A
設定範囲	00～FF

##### [Manual Code3]

[Code] を“手動”に設定した場合、3 バイト目に使用するコードを HEX 形式で設定する。

入力は 2 文字固定の “0” から “F” の半角文字で行うこと。

大文字と小文字の区別はない。

2 文字で 1 文字の HEX を表す。（例：“0” → “30”、“A” → “41”）

工場出荷時	00
設定範囲	00～FF

## 【XML】

### [XML Mode]

XML を有効にするか否かを設定する。

工場出荷時	Disable
設定項目	Disable, Standard, Oracle, SAP

## 【RTC】

### [Date]

RTC モジュールの現在の日付が表示される。

この設定は変更できない。

### [Time]

RTC モジュールの現在の時刻が表示される。

この設定は変更できない。

### [Time Zone]

TimeZone 設定が表示される。

この設定は変更できない。

### [Date Format]

日付表示のフォーマットを設定する。

工場出荷時	YY/MM/DD (JA), DD/MM/YY (QM), MM/DD/YY (QQ, CN)
設定項目	YY/MM/DD, DD/MM/YY, MM/DD/YY

### [Battery Check]

バッテリーのチェックを有効にするか否かを設定する。

工場出荷時	Disable
設定項目	Disable, Enable

### [Renewal]

発行時に日付・時刻を書き換えるタイミングを設定する。

工場出荷時	Start of JOB
設定項目	Start of JOB, Every Page, Every 1min

## 【SNTP Service】

### [Enable SNTP]

SNTP を使用するかを設定する。

工場出荷時	Disable
設定項目	Disable, Enable

#### [Primary SNTP Address]

SNTP の接続先アドレスを設定する。

工場出荷時	
設定範囲	最大 128 文字

#### [Secondary SNTP Address]

SNTP の接続先アドレスを設定する。

工場出荷時	
設定範囲	最大 128 文字

#### [Scan Rate]

どのくらいの間隔で SNTP サーバにアクセスするかを設定する。

工場出荷時	24
設定項目	1~168

#### [Port Number]

SNTP サーバ接続時のポート番号を設定する。

工場出荷時	123
設定項目	1~65534

#### [NTP Authentication]

NTP 認証を有効にするかを設定する。

工場出荷時	Disable
設定項目	Disable, Enable

#### [Key ID]

NTP 認証時に使用する ID を設定する。

工場出荷時	
設定範囲	1~65535

#### [Password]

NTP 認証時に使用するパスワードを設定する。

工場出荷時	
設定範囲	最大 8 文字

### 【System Mode】

#### [System Mode Password]

システムモードに入るときのパスワードを有効にするか否かを選択する。

設定する場合には旧パスワードが必要。

旧パスワードの指定が間違っている場合、変更できない。

工場出荷時	Disable
設定項目	Disable, Enable

#### [New Password]

システムモードに入るときのパスワードを設定する。

設定する場合には旧パスワードが必要。

旧パスワードの指定が間違っている場合、変更できない。

システムモードパスワードが有効の場合のみ、有効になる。

入力は4文字固定の“0”から“F”的半角文字で行うこと。

大文字のみ入力可能。

セキュリティ情報であるため、隠し文字で表示される。

工場出荷時	0000
設定範囲	0000～FFFF

#### [Old Password]

システムモードに入るときのパスワードを解除するために設定する。

現在プリンタに設定されたパスワードを設定する。

入力は4文字固定の“0”から“F”的半角文字で行うこと。

大文字のみ入力可能。

セキュリティ情報であるため、隠し文字で表示される。

新パスワードを有効にする場合、“0000”を設定すること。

工場出荷時	0000
設定範囲	0000～FFFF

#### 【Notification】

##### [Email Address 1]

通知先のEmailアドレスを指定する。

工場出荷時	
設定範囲	最大192文字

##### [Email Address 2]

通知先のEmailアドレスを指定する。

工場出荷時	
設定範囲	最大192文字

##### [Email Address 3]

通知先のEmailアドレスを指定する。

工場出荷時	
設定範囲	最大192文字

[From Address]

通知メールの送信者アドレスを指定する。

工場出荷時	
設定範囲	最大 192 文字

[From Name]

通知メールの送信者名を指定する。

工場出荷時	
設定範囲	最大 64 文字

[Head Close]

ヘッドが閉じられた場合に通知するかを設定する。

工場出荷時	Uncheck
設定項目	Uncheck, Check

[Head Open]

ヘッドが開かれた場合に通知するかを設定する。

工場出荷時	Uncheck
設定項目	Uncheck, Check

[Command Error]

コマンドでエラーが発生した場合に通知するかを設定する。

工場出荷時	Uncheck
設定項目	Uncheck, Check

[Serial Port Error]

シリアルポートでエラーが発生した場合に通知するかを設定する。

工場出荷時	Uncheck
設定項目	Uncheck, Check

[Paper Jam]

紙詰まりが発生した場合に通知するかを設定する。

工場出荷時	Uncheck
設定項目	Uncheck, Check

[Cutter Error]

カッターでエラーが発生した場合に通知するかを設定する。

工場出荷時	Uncheck
設定項目	Uncheck, Check

#### [No Paper]

用紙が無くなった場合に通知するかを設定する。

工場出荷時	Uncheck
設定項目	Uncheck, Check

#### [No Ribbon]

リボンが無くなった場合に通知するかを設定する。

工場出荷時	Uncheck
設定項目	Uncheck, Check

#### [Feed While Head Open]

ヘッドが開いている状態でフィードされた場合に通知するかを設定する。

工場出荷時	Uncheck
設定項目	Uncheck, Check

#### [Head Error]

ヘッドでエラーが発生した場合に通知するかを設定する。

工場出荷時	Uncheck
設定項目	Uncheck, Check

#### [Head Temp Error]

ヘッド温度でエラーが発生した場合に通知するかを設定する。

工場出荷時	Uncheck
設定項目	Uncheck, Check

#### [Ribbon Sensor Error]

リボンセンサーでエラーが発生した場合に通知するかを設定する。

工場出荷時	Uncheck
設定項目	Uncheck, Check

#### [Rewinder Full]

リワインダーフルが発生した場合に通知するかを設定する。

工場出荷時	Uncheck
設定項目	Uncheck, Check

#### [Issue Complete]

問題が解決した場合に通知するかを設定する。

工場出荷時	Uncheck
設定項目	Uncheck, Check

[Feed Complete]

搬送が完了した場合に通知するかを設定する。

工場出荷時	Uncheck
設定項目	Uncheck, Check

[Flash Write Error]

フラッシュへの書き込みでエラーが発生した場合に通知するかを設定する。

工場出荷時	Uncheck
設定項目	Uncheck, Check

[Flash Format Error]

フラッシュのフォーマットでエラーが発生した場合に通知するかを設定する。

工場出荷時	Uncheck
設定項目	Uncheck, Check

[Flash Full]

フラッシュの残容量が無くなった場合に通知するかを設定する。

工場出荷時	Uncheck
設定項目	Uncheck, Check

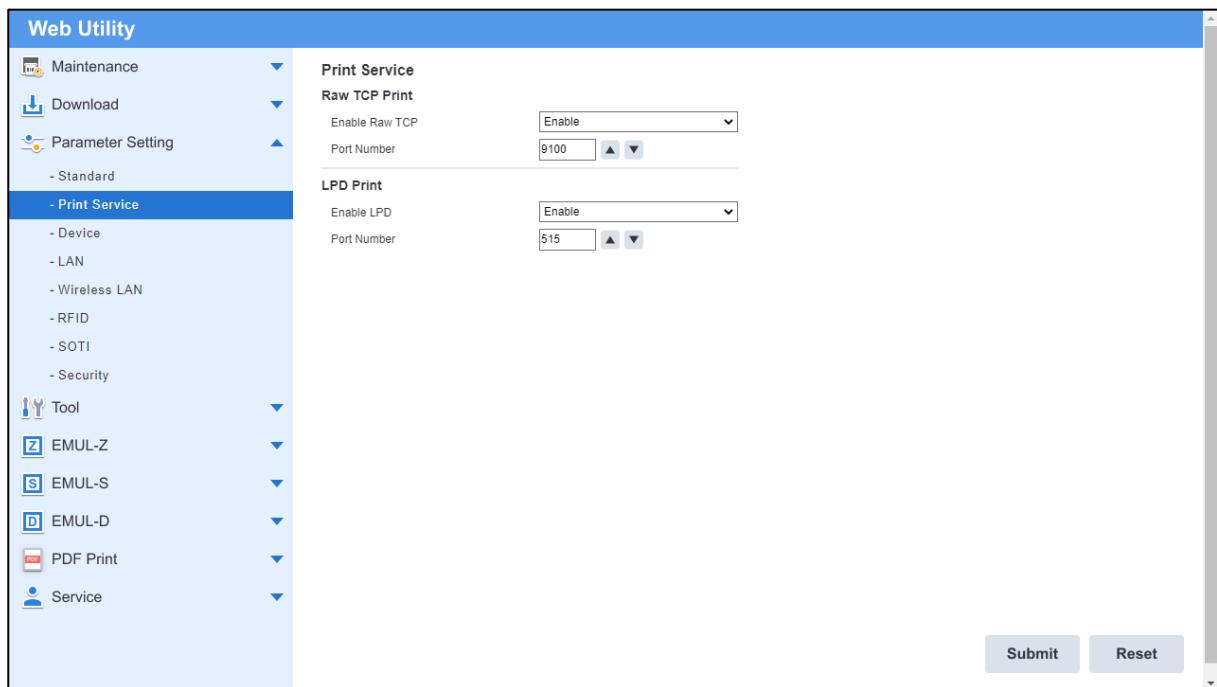
[Response Mail]

E メール受信時に通知するかを設定する。

工場出荷時	Disable
設定項目	Disable, Enable

### 3.5.2. Print Service

Chrome 例



#### 【Raw TCP Print】

[Enable Raw TCP]

Raw TCP 印刷サービスを使用するかを設定する。

工場出荷時	Enable
設定項目	Disable, Enable

#### [Port Number]

Raw TCP 印刷に使用するポート番号を設定する。

工場出荷時	9100
設定範囲	1~65534

#### 【LPD Print】

[Enable LPD]

LPD 印刷サービスを使用するかを設定する。

工場出荷時	Enable
設定項目	Disable, Enable

#### [Port Number]

LPR 印刷に使用するポート番号を設定する。

工場出荷時	515
設定範囲	1~65534



### 3.5.3. Device

Chrome 例

The screenshot shows the 'Web Utility' interface with the 'Device' section selected in the left sidebar. The main area displays configuration options for Bluetooth, RS-232C, and USB interfaces.

Category	Setting	Value
Bluetooth	Bluetooth I/F	Enable
	Data Nickname	BT
	Inquiry	Every
	Security	SSP
	Scan Interval	2048
	Scan Window	36
	SSP Auth Type	Just Works
RS-232C	Auto Reconnection	Disable
	Speed	2400 bps
	Data Length	8 bits
	Parity	Even
	Stop Bit	1 bit
USB	Control	XON/XOFF
	USB Serial ID	Disable
	USB I/F Status	Disable

At the bottom right are 'Submit' and 'Reset' buttons.

#### 【Bluetooth】 (L1.2 以降)

##### [Bluetooth I/F]

Bluetooth 機能を使用するかを設定する。

Bluetooth が無効の場合、Enable は選択肢に表示されない。

工場出荷時	Enable
設定項目	Disable, Enable

##### [Device Nickname]

Bluetooth 機能のデバイスニックネームを設定する。表示のみ

##### [Inquiry]

Bluetooth 機能の検索設定を設定する。

工場出荷時	Every
設定項目	Off, 60 seconds, Every

##### [Security]

Bluetooth 機能のセキュリティレベルを設定する。

工場出荷時	SSP
設定項目	No Security, SSP, Link Level

#### [Scan Interval]

Bluetooth 機能の接続間隔を設定する。

工場出荷時	2048
設定項目	18~4096 (秒)

#### [Scan Window]

Bluetooth 機能の接続ウィンドウを設定する。

工場出荷時	36
設定項目	18~4096 (秒)

#### [SSP Auth Type]

Bluetooth 機能の SSP 認証種別を設定する。

工場出荷時	[BA400/BV410] Numeric comparison(Display YesNo) [BV420] Just Works
設定項目	Just Works, Numeric comparison(No Input No Output), Numeric comparison(Display only), Numeric comparison(Display YesNo)

#### [Auto Reconnection]

Bluetooth 機能の自動再接続を設定する。

工場出荷時	Enable
設定項目	Disable, Enable

### 【RS-232C】

#### [Speed]

RS-232C 通信で使用するデータ転送速度を設定する。

工場出荷時	9600 bps
設定項目	2400 bps、4800bps、9600 bps、19200 bps、38400 bps、115200 bps

#### [Data Length]

RS-232C 通信で使用するデータ長を設定する。

工場出荷時	8 bits
設定項目	7 bits、8 bits

#### [Parity]

RS-232C 通信で使用するエラーチェックを設定する。

工場出荷時	None
-------	------

設定項目	None, Even, Odd
------	-----------------

#### [Stop Bit]

RS-232C 通信で使用するストップビット長を設定する。

工場出荷時	1 bit
設定項目	1 bit, 2 bits

#### [Control]

RS-232C 通信で使用するデータフロー制御を設定する。

工場出荷時	XON+READY AUTO
設定項目	XON+READY AUTO、XON/XOFF AUTO、READY/BUSY RTS、XON/XOFF、READY/BUSY

#### 【USB】

##### [USB Serial ID]

USB のシリアル番号を有効にするか否かを設定する。

無効にした場合、USB ポートに対して接続が確立される。

USB ポートを変えるたびにプリンタドライバのインストールが発生する。

有効にした場合、表示されたシリアル番号に対して接続が確立される。

シリアル番号ごとにプリンタドライバのインストールが発生する。

工場出荷時	Disable
設定項目	Disable, Enable

##### [USB I/F Status]

USB 通信で自動ステータス応答を返信する機能を有効にするか否かを設定する。

工場出荷時	Disable
設定項目	Disable, Enable

### 3.5.4. LAN

#### Chrome 例

The screenshot shows the 'Web Utility' interface with the 'LAN' section selected in the left sidebar. The right side contains various configuration options for LAN, Web Printer, FTP Server, SMTP Client, and POP3 Client.

Section	Setting	Value
LAN	Address Mode	Static IP
LAN	Host Name	[Input Field]
LAN	IP Address	[Input Field]
LAN	Subnet Mask	[Input Field]
LAN	Gateway Address	[Input Field]
LAN	Obtain a Domain Name automatically	Disable
LAN	Obtain a Domain Server Address automatically	Disable
IPv6	Enable IPv6	Disable
IPv6	LLMNR	Disable
IPv6	Link Local Address	fe80::280:91ff:fed5:2c13
IPv6	Address Mode	Manual
IPv6	IP Address	[Input Field]
IPv6	Prefix Length	0
IPv6	Gateway Address	[Input Field]
IPv6	Use DHCPv6 Options	Disable
DNS	Enable DNS	Disable
DNS	Primary Address	[Input Field]
DNS	Secondary Address	[Input Field]
Web Printer	Enable Web Printer	Disable
Web Printer	Enable SSL/TLS	Disable
Web Printer	Port Number	80
Web Printer	SSL/TLS Port Number	10443
FTP Server	Enable FTP Server	Disable
FTP Server	Enable SSL/TLS	Disable
FTP Server	Default Port Number	21
FTP Server	SSL/TLS Port Number	990
FTP Server	User Name	[Input Field]
FTP Server	Password	[Input Field]
SMTP Client	Enable SMTP Client	Disable
SMTP Client	Enable SSL/TLS	Disable
SMTP Client	SSL/TLS	STARTTLS
SMTP Client	SMTP Server Address	[Input Field]
SMTP Client	Port Number	25
POP3 Client	Enable POP3 Client	Disable
POP3 Client	Enable SSL/TLS	Disable
POP3 Client	POP3 Server Address	[Input Field]
POP3 Client	Account Name	[Input Field]

#### 【Network】

##### [LAN/WLAN]

有線 LAN または無線 LAN での通信を有効にするか否かを設定する。

無線 LAN が無効の場合、Enable(Auto)、Enable(Wireless LAN)は選択肢に表示されない。

工場出荷時	Enable (AUTO)
設定項目	Disable, Enable (AUTO), Enable (Wired LAN), Enable (Wireless LAN)

##### [Host Name]

ホスト名を設定する。

工場出荷時	(一意の値)
設定範囲	0~32 文字

##### [DHCP]

DHCP 機能を有効にするかを設定する。

工場出荷時	Enable
設定項目	Disable, Enable

##### [IP Address]

IP アドレスを設定する。

工場出荷時	192.168.10.20
設定範囲	0.0.0.0～255.255.255.255

[Subnet Mask]

サブネットマスクを設定する。

工場出荷時	255.255.255.0
設定範囲	0.0.0.0～255.255.255.255

[Gateway Address]

デフォルトゲートウェイのアドレスを設定する。

工場出荷時	0.0.0.0
設定範囲	0.0.0.0～255.255.255.255

[Obtain a Domain Name automatically]

ドメイン名を DHCP サーバーから自動的に取得するかを設定する。

工場出荷時	Enable
設定範囲	Disable, Enable

[Obtain a Domain Server Address automatically]

ドメインサーバーアドレスを DHCP サーバーから自動的に取得するかを設定する。

工場出荷時	Enable
設定範囲	Disable, Enable

【IPv6】

[Enable IPv6]

Web Printer 機能を有効にするかを設定する。

工場出荷時	Enable Disable
設定項目	Disable, Enable

[Link Local Address]

リンクローカルアドレスを表示する。

この設定は変更できない。

[Address Mode]

IP アドレスの設定方法を設定する。

工場出荷時	Stateful
設定項目	Manual, Stateless, Stateful

[IP Address]

マニュアル設定時の IP アドレスを設定する。

この設定は Address Mode で Manual が選択されている場合に表示される。

工場出荷時	
設定範囲	1:0:0:0:0:0:0:0～ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff

#### [Prefix Length]

マニュアル設定時のプレフィックス長を設定する。

この設定は Address Mode で Manual が選択されている場合に表示される。

工場出荷時	0
設定範囲	0～128

#### [Gateway]

マニュアル設定時のデフォルトゲートウェイのアドレスを設定する。

この設定は Address Mode で Manual が選択されている場合に表示される。

工場出荷時	
設定範囲	1:0:0:0:0:0:0:0～ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff

#### [Use DHCPv6 for Options]

マニュアル設定時の DHCPv6 サーバーから通知される DNS サーバーの IPv6 アドレスなどのオプション情報を使用するかを設定する。

この設定は Address Mode で Manual が選択されている場合に表示される。

工場出荷時	Disable
設定項目	Disable, Enable

#### [Use DHCPv6 for IP Address(M flag)]

ステートレス設定時に IPv6 サーバーから通知される IPv6 アドレスを取得するかを設定する。

この設定は Address Mode で Stateless が選択されている場合に表示される。

工場出荷時	Enable
設定項目	Disable, Enable

#### [Use DHCPv6 for Options(0 flag)]

ステートレス設定時に DHCPv6 サーバーから通知される DNS サーバーの IPv6 アドレスなどのオプション情報を使用するかを設定する。

この設定は Address Mode で Stateless が選択されている場合に表示される。

工場出荷時	Enable
設定項目	Disable, Enable

#### [FQDN Option]

FQDN オプションを使用するかを設定する。

この設定は Address Mode で Stateless が選択されている場合に表示される。

工場出荷時	Disable
設定項目	Disable, Enable

[FQDN Server Update]

FQDN オプションを使用する場合のアップデート方法を設定する。

この設定は Address Mode で Stateless が選択されている場合に表示される。

工場出荷時	Server
設定項目	Client, Server

[IP Address]

ステートレスアドレスを表示する。最大 7 個までの IPv6 アドレスを保持できる。

この項目は Address Mode で Stateless が選択されている場合に表示される。

[Use DHCPv6 for IP Address]

DHCPv6 サーバーから通知される IPv6 アドレスを使用するかを設定する。

この設定は Address Mode で Stateful が選択されている場合に表示される。

工場出荷時	Enable
設定項目	Disable, Enable

[Use DHCPv6 for Options]

DHCPv6 サーバーから通知される DNS サーバーの IPv6 アドレスなどのオプション情報を使用するかを設定する。

この設定は Address Mode で Stateful が選択されている場合に表示される。

工場出荷時	Enable
設定項目	Disable, Enable

[FQDN Option]

FQDN オプションを使用するかを設定する。

この設定は Address Mode で Stateful が選択されている場合に表示される。

工場出荷時	Disable
設定項目	Disable, Enable

[FQDN Server Update]

FQDN オプションを使用する場合のアップデート方法を設定する。

この設定は Address Mode で Stateful が選択されている場合に表示される。

工場出荷時	Server
設定項目	Client, Server

[IP Address]

取得したステートフルアドレスを表示する。

この項目は Address Mode で Stateful が選択されている場合に表示される。

### 【DNS】

#### [Enable DNS]

DNS サーバーを使用するかを設定する。

工場出荷時	Enable
設定項目	Disable, Enable

#### [Primary Address]

DNS サービスが有効な場合にプライマリ DNS サーバーの IP アドレスを設定する。

工場出荷時	0.0.0.0
設定範囲	0.0.0.0～255.255.255.255

#### [Secondary Address]

DNS サービスが有効な場合に必要に応じてセカンダリ DNS サーバーの IP アドレスを設定する。

工場出荷時	0.0.0.0
設定範囲	0.0.0.0～255.255.255.255

#### [Primary Address (IPv6)]

IPv6 で DNS サービスが有効な場合にプライマリ DNS サーバーの IP アドレスを設定する。

工場出荷時	
設定範囲	1:0:0:0:0:0:0:0～ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff

#### [Secondary Address (IPv6)]

IPv6 で DNS サービスが有効な場合に必要に応じてセカンダリ DNS サーバーの IP アドレスを設定する。

工場出荷時	
設定範囲	1:0:0:0:0:0:0:0～ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff

### 【DDNS】

#### [Enable DDNS]

ダイナミック DNS サービスを使用するかを設定する。

工場出荷時	Enable
設定項目	Disable, Enable

#### [Domain Name]

ダイナミック DNS サービスを使用して DNS サーバーに登録する本機のドメイン名を設定する。

工場出荷時	
設定項目	最大 96 文字

[Security Method]

セキュリティ方式を選択する。

工場出荷時	None
設定項目	None, GSS-TSIG, TSIG, SIG(0)

[Primary Login Name]

セキュリティ方式で GSS-TSIG を選択した場合にプライマリログインネームを設定する。

工場出荷時	
設定項目	最大 128 文字

[Primary Password]

セキュリティ方式で GSS-TSIG を選択した場合にプライマリパスワードを設定する。

工場出荷時	
設定項目	最大 128 文字

[Secondary Login Name]

セキュリティ方式で GSS-TSIG を選択した場合にセカンダリログインネームを設定する。

工場出荷時	
設定項目	最大 128 文字

[Secondary Password]

セキュリティ方式で GSS-TSIG を選択した場合にセカンダリパスワードを設定する。

工場出荷時	
設定項目	最大 128 文字

[TSIG/SIG(0) Key file]

TSIG および SIG(0) で使用するキーファイルをダウンロードまたは削除する。

[TSIG/SIG(0) Private Key file]

TSIG および SIG(0) で使用するプライベートキーファイルをダウンロードまたは削除する。

【TLS Version】

SSL/TLS 通信で使用する TLS のバージョンを選択する。

[TLS 1.2]

工場出荷時	Check
設定項目	Uncheck, Check

[TLS 1.3]

工場出荷時	UnCheck
設定項目	Uncheck, Check

【Key Exchanges】

TLS 1.2 の暗号スイートで使用する鍵交換の方式を選択する。

[ECDHE]

工場出荷時	Check
設定項目	Uncheck, Check

[DHE]

工場出荷時	Check
設定項目	Uncheck, Check

[RSA]

工場出荷時	Check
設定項目	Uncheck, Check

【Encryption Algorithms】

TLS 1.2 の暗号スイートで使用する暗号化アルゴリズムを選択する。

[AES-256-GCM]

工場出荷時	Check
設定項目	Uncheck, Check

[AES-128-GCM]

工場出荷時	Check
設定項目	Uncheck, Check

[AES256]

工場出荷時	Check
設定項目	Uncheck, Check

[AES128]

工場出荷時	Check
設定項目	Uncheck, Check

【Hash Algorithms】

TLS 1.2 の暗号スイートで使用するハッシュアルゴリズムを選択する。

[SHA384]

工場出荷時	Check
設定項目	Uncheck, Check

[SHA256]

工場出荷時	Check
設定項目	Uncheck, Check

[SHA1]

工場出荷時	Check
設定項目	Uncheck, Check

**【Web Utility】**

[Enable Web Utility]

Web Printer 機能を有効にするかを設定する。

工場出荷時	Enable
設定項目	Disable, Enable

[Enable SSL/TLS]

Web Printer 接続に SSL/TLS を使用するかを設定する。

工場出荷時	Disable
設定項目	Disable, Enable

[Port Number]

Web Printer 接続時に使用するポート番号を設定する。

工場出荷時	80
設定範囲	1～65534

[SSL/TLS Port Number]

Web Printer へ SSL 接続時に使用するポート番号を設定する。

工場出荷時	10443
設定項目	1～65534

**【FTP Server】**

[Enable FTP Server]

FTP サーバー機能を有効にするかを設定する。

工場出荷時	Disable
設定項目	Disable, Enable

[Enable SSL/TLS]

FTP サーバーにアクセスするときに SSL/TLS を使用するかを設定する。

工場出荷時	Disable
設定項目	Disable, Enable

#### [Default Port Number]

FTP でアクセスするときに使用するポート番号を設定する。

工場出荷時	21
設定範囲	1～65534

#### [SSL/TLS Port Number]

SSL/TLS を使用して FTP サーバーにアクセスするポート番号を設定する。

工場出荷時	990
設定範囲	1～65534

#### [User Name]

FTP サーバーにアクセスするユーザーの名前を設定する。

工場出荷時	
設定範囲	最大 31 文字

#### [Password]

FTP サーバーにアクセスするユーザーのパスワードを設定する。

工場出荷時	
設定範囲	最大 31 文字

#### 【SMTP Client】

##### [Enable SMTP Client]

SMTP クライアント機能を有効にするか否かを設定する。

本機から SMTP サーバを介して E メールを送信する場合に有効にする。

工場出荷時	Disable
設定項目	Disable, Enable

#### [SMTP Server Address]

SMTP サーバのアドレスを設定する。

工場出荷時	
設定範囲	0～128 文字

#### [Login Name]

SMTP サーバーに接続するためのログイン名を設定する。

工場出荷時	
設定範囲	0～64 文字

[Password]

SMTP サーバに接続するためのパスワードを設定する。

工場出荷時	
設定範囲	0~64 文字

[Port Number]

SMTP サーバにアクセスするためのポート番号を設定する。

工場出荷時	25
設定範囲	1~65534

【POP3 Client】

[Enable POP3 Client]

POP3 クライアント機能を有効にするか否かを設定する。

工場出荷時	Disable
設定項目	Disable, Enable

[Enable SSL/TLS]

POP3 サーバにアクセスするときに SSL/TLS を使用するか否かを設定する。

工場出荷時	Disable
設定範囲	Disable, Verify with imported CA certification(s), Accept all certificates without CA

[POP3 Server Address]

POP3 サーバの IP アドレスを設定する。

工場出荷時	
設定範囲	最大 128 文字

[Account Name]

POP3 サーバにアクセスするためのアカウント名を設定する。

工場出荷時	
設定範囲	最大 96 文字

[Password]

POP3 サーバにアクセスするためのパスワードを設定する。

工場出荷時	
設定範囲	最大 96 文字

[Scan Rate]

新着メッセージを確認するために、どのくらいの間隔で POP3 サーバにアクセスするかを設定する。

工場出荷時	5
設定項目	0~4096

#### [SSL/TLS Port Number]

SSL/TLS を使用して POP3 サーバにアクセスするポート番号を設定する。

工場出荷時	995
設定項目	1~65534

#### 【SNMP】

##### [Enable SNMP V1/V2]

SNMP V1/V2 を使用するか否かを設定する。

工場出荷時	Enable
設定項目	Disable, Enable

##### [Read Community]

SNMP アクセス用の SNMP リードコミュニティ名を設定する。

工場出荷時	public
設定範囲	最大 31 文字

##### [Read Write Community]

SNMP 通信による読み書きを許可する SNMP リードライトコミュニティ名を設定する。

工場出荷時	private
設定範囲	最大 31 文字

ReadWrite Community 名を Read Community 名と一緒に設定すると、

Set 処理が正常に動作しません。

##### [Enable SNMP V3]

SNMP V3 を使用するか否かを設定する。

工場出荷時	Disable
設定範囲	Disable, Enable

##### [SNMP V3 User Information]

本機に登録された SNMP ユーザ情報がリスト表示される。

SNMP ユーザ情報は、登録、編集、削除、およびエクスポートすることが可能。

工場出荷時	
設定範囲	ユーザ名 : 最大 31 文字

	認証プロトコル : HMAC-MD5, HMAC-SHA 認証パスワード : 最大 31 文字 プライバシープロトコル : なし, CBC-DES, CFB-AES-128 パスワード : 最大 31 文字 許可レベル : 管理者, 一般ユーザー
--	---

**Create SNMP V3 User Information**

Create SNMP V3 User Information

Context Name	BCS
User Name	<input type="text"/>
Authentication Protocol	HMAC-MD5
Authentication Password	<input type="password"/>
Privacy Protocol	None
Privacy Password	<input type="password"/>
Permissions Level	Administrator

**Submit**    **Cancel**

#### [Enable SNMP V3 Trap]

SNMP V3 を使用するか否かを設定する。

工場出荷時	Disable
設定項目	Disable, Enable

#### [SNMP V3 Trap User Name]

SNMP V3 トラップユーザ名を設定する。

工場出荷時	
設定範囲	最大 31 文字

#### [SNMP V3 Trap Authentication Protocol]

認証に使用するプロトコルを設定する。

工場出荷時	HMAC-MD5
設定項目	HMAC-MD5, HMAC-SHA

#### [SNMP V3 Trap Authentication Password]

認証パスワードを設定する。

工場出荷時	
設定範囲	最大 31 文字

[SNMP V3 Trap Privacy Protocol]

データの暗号化に使用するプロトコルを設定する。

工場出荷時	None
設定項目	None, CBC-DES, CFB-AES-128

[SNMP V3 Trap Privacy Password]

プライバシーパスワードを設定する。

工場出荷時	
設定範囲	最大 31 文字

[Enable Authentication Trap]

指定したプライベートコミュニティ以外から SNMP V1/V2 により本機にアクセスがあった場合に、SNMP トラップを送信するか否かを設定する。

工場出荷時	Enable
設定項目	Disable, Enable

[Enable Alerts Trap]

警告状況が発生したときに、SNMP V1/V2 トラップを送信するか否かを設定する。

工場出荷時	Enable
設定項目	Disable, Enable

[IP Trap Address (1~10)]

SNMP トラップを送信する IP アドレスを設定する。

工場出荷時	
設定範囲	0.0.0.0 ~ 255.255.255.255

[IP Trap Community]

IP トラップ用のトラップコミュニティ名を設定する。

工場出荷時	public
設定範囲	最大 31 文字

### 3.5.5. Wireless LAN

Chrome 例

LAN/WAN 設定が、Enable(Wired LAN) or Disable

The screenshot shows the 'Web Utility' interface with the 'Parameter Setting' menu expanded. Under 'LAN/WAN', the 'General' tab is selected. A dropdown menu shows 'Enable (Wired LAN)'.

LAN/WAN 設定が、Enable(Wireless LAN) or Enable(Auto)

The screenshot shows the 'Web Utility' interface with the 'Parameter Setting' menu expanded. Under 'LAN/WAN', the 'Wireless LAN' tab is selected. A dropdown menu shows 'Enable (Wireless LAN)'. The right side of the screen displays various wireless network configuration options like Host Name, Address Mode, IP Address, Subnet Mask, Gateway Address, and roaming settings.

#### 【General】

[LAN/WAN]

\*\* 本設定は、LAN 設定内の LAN/WLAN 設定と同じものを表示する。

\*\* 変更した場合は、LAN 設定内の LAN/WLAN 設定にも反映される。

有線 LAN または無線 LAN での通信を有効にするか否かを設定する。

無線 LAN が無効の場合、Enable(Auto)、Enable(Wireless LAN)は選択肢に表示されない。

工場出荷時	Enable (AUTO)
-------	---------------

設定項目	Disable, Enable (AUTO), Enable (Wired LAN), Enable (Wireless LAN)
------	---

【Status】

[Status]

無線 LAN の状態を表示する。

この設定は変更できない。

【Network】

\*\* 本設定は、LAN 設定内の Network 設定と同じものを表示する。

\*\* 変更した場合は、LAN 設定内の Network 設定にも反映される。

[Host Name]

ホスト名を設定する。

工場出荷時	(一意の値)
設定範囲	0~32 文字

[DHCP]

DHCP 機能を有効にするかを設定する。

工場出荷時	Enable
設定項目	Disable, Enable

[IP Address]

IP アドレスを設定する。

工場出荷時	192.168.10.20
設定範囲	0.0.0.0~255.255.255.255

[Subnet Mask]

サブネットマスクを設定する。

工場出荷時	255.255.255.0
設定範囲	0.0.0.0~255.255.255.255

[Gateway Address]

デフォルトゲートウェイのアドレスを設定する。

工場出荷時	0.0.0.0
設定範囲	0.0.0.0~255.255.255.255

[Obtain a Domain Name automatically]

ドメイン名を DHCP サーバーから自動的に取得するかを設定する。

工場出荷時	Enable
設定範囲	Disable, Enable

[Obtain a Domain Server Address automatically]

ドメインサーバーアドレスを DHCP サーバーから自動的に取得するかを設定する。

工場出荷時	Enable
設定範囲	Disable, Enable

【Roaming Setting】

[Roaming]

ローミングの動的切り替えを有効にするかを設定する。

工場出荷時	Enable
設定項目	Disable, Enable

[Roaming Threshold (Lower Limit)]

ローミングスキャンを始める電波強度のしきい値を設定する。

工場出荷時	70
設定範囲	0~99

[Switching Frequency (Lower Limit)]

ローミング切り替え頻度の下限を設定する。

工場出荷時	30
設定範囲	1~7200

[Switching Frequency (Normal)]

ローミング切り替え頻度を設定する。

工場出荷時	1h
設定範囲	5min, 10min, 15min, 30min, 1h, 2h

[Country/Region Code]

設定されたカントリーコードが表示される。

この設定は変更できない

【Access Point Mode】

[Access Point Mode]

アクセスポイントモードを有効にするかを設定する。

工場出荷時	Disable
設定項目	Disable, Enable

[SSID]

アクセスポイントモードの SSID を設定する。

Access Point Mode が Disable の場合は表示しない。

工場出荷時	AP_+ “Host Name”
設定範囲	最大 32 文字

[Connection Method]

アクセスポイントでの接続方式を設定する。

Access Point Mode が Disable の場合は表示しない。

工場出荷時	WPA2 Personal
設定項目	Open, WPA2 Personal

[Password]

アクセスポイントへ接続する際のパスワードを設定する。

Access Point Mode が Disable の場合は表示しない。

工場出荷時	
設定範囲	最小 8 文字～最大 32 文字

[IP Address]

アクセスポイントでのプリンターの IP アドレスを設定する。

Access Point Mode が Disable の場合は表示しない。

工場出荷時	192.168.117.10
設定範囲	0.0.0.0～255.255.255.255

[Automatic Setting]

アクセスポイントモードの設定を自動で設定する。

Password をランダムで作成、SSID、IP アドレスはデフォルト値となる。

Access Point Mode が Disable の場合は表示しない。

【Status】

Access Point Mode が Disable の場合は表示しない。

[SSID]

アクセスポイントモードの SSID を表示する。

[Password]

アクセスポイントへ接続する際のパスワードを表示する。

[QR コード]

アクセスポイントへ接続するための QR コードを表示する。

【Infrastructure Connection】

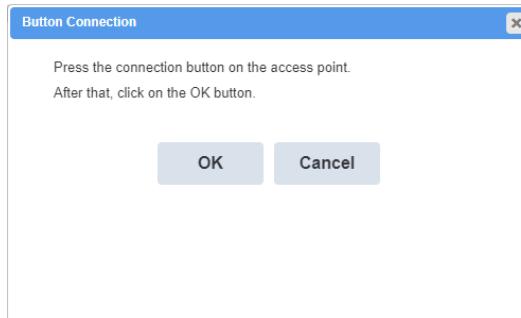
インフラストラクチャー接続の操作を提供する。

接続方法は Button、PIN の 2 種類

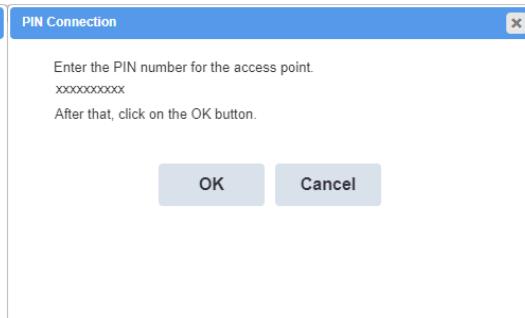
Connection ボタンを押下することで以下ポップアップが表示される。

※インフラストラクチャー接続済みの場合は実行できない

#### Button Connection



#### PIN Connection



### 【Infrastructure Setting】

#### [Infrastructure Mode]

インフラストラクチャー接続を有効にするかを設定する。

工場出荷時	Disable
設定項目	Disable, Enable

#### [SSID]

インフラストラクチャー接続の SSID を設定する。

Infrastructure Mode が Disable の場合は表示しない。

工場出荷時	
設定項目	最大 32 文字

#### [Connection Method]

インフラストラクチャー接続の接続方式を設定する。

Infrastructure Mode が Disable の場合は表示しない。

工場出荷時	Open
設定項目	Open, WEP, IEEE802.1X (Dynamic WEP), WPA3 Personal, <del>WPA2/WPA3 Personal</del> , WPA2 Personal, WPA/WPA2 Personal, WPA3 Enterprise 192-bit Security, WPA3 Enterprise, <del>WPA2/WPA3 Enterprise</del> , WPA2 Enterprise, WPA/WPA2 Enterprise

#### [Encryption]

インフラストラクチャー接続の暗号化方式を設定する。

以下の場合は表示しない。

Infrastructure Mode が Disable の場合

Connection Method が Open または WEP の場合

工場出荷時	Off
設定項目	Off, Dynamic WEP, AES-CCMP, AES-GCMP, TKIP + AES

#### [Password]

インフラストラクチャー接続のパスワードを設定する。

以下の場合は表示しない。

Infrastructure Mode が Disable の場合

Connection Method が Open, WEP, IEEE802.1X(Dynamic WEP), WPA3 Enterprise 192-bit Security, WPA3 Enterprise, WPA2 Enterprise, WPA/WPA2 Enterprise の場合

工場出荷時	
設定項目	最小 8 文字～最大 63 文字

#### [PMF]

インフラストラクチャー接続の PMF を設定する。

以下の場合は表示しない。

Infrastructure Mode が Disable の場合

Connection Method が Open, WEP, IEEE802.1X(Dynamic WEP), WPA/WPA2 Personal, WPA/WPA2 Enterprise の場合

工場出荷時	Disabled
設定項目	Disabled, Required, Optional

#### [EAP Method]

EAP の認証方式を設定する。

以下の場合は表示しない。

Infrastructure Mode が Disable の場合

Connection Method が Open, WEP, WPA3 Personal, WPA2 Personal, WPA/WPA2 Personal の場合

工場出荷時	EAP-TLS
設定項目	EAP-TLS, EAP-PEAPv0, EAP-TTLS, EAP-FAST

#### [EAP User Name]

EAP 認証のユーザ名を設定する。

以下の場合は表示しない。

Infrastructure Mode が Disable の場合

Connection Method が Open, WEP, WPA3 Personal, WPA2 Personal, WPA/WPA2 Personal の場合

工場出荷時	
設定項目	最大 32 文字

#### [EAP Password]

EAP 認証のパスワードを設定する。

以下の場合は表示しない。

Infrastructure Mode が Disable の場合

Connection Method が Open, WEP, WPA3 Personal, WPA2 Personal, WPA/WPA2 Personal の場合

EAP Method が EAP-TLS の場合

工場出荷時	
設定項目	最大 32 文字

#### [CA Certificate]

EAP 認証で CA 証明書を使用するかを設定する。

以下の場合は表示しない。

Infrastructure Mode が Disable の場合

Connection Method が Open, WEP, WPA3 Personal, WPA2 Personal, WPA/WPA2 Personal の場合

工場出荷時	Use System Certificate
設定項目	Use System Certificate, Do not use Certificate (not recommended)

#### [WEP Encrypt Key Method]

WEP の暗号キー方式を設定する。

以下の場合は表示しない。

Infrastructure Mode が Disable の場合

Connection Method が WEP 以外の場合

工場出荷時	ASCII
設定項目	ASCII, HEX

#### [WEP Encrypt Key Length]

WEP の暗号キー長を設定する。

以下の場合は表示しない。

Infrastructure Mode が Disable の場合

Connection Method が WEP 以外の場合

工場出荷時	64bit
設定項目	64bit, 128bit

#### [Default WEP Key]

WEP のデフォルトとなる WEP キーを設定する。

以下の場合は表示しない。

Infrastructure Mode が Disable の場合

Connection Method が WEP 以外の場合

工場出荷時	1
設定項目	1, 2, 3, 4

#### [WEP Key 1]

WEP キーを設定する。

以下の場合は表示しない。

Infrastructure Mode が Disable の場合

Connection Method が WEP 以外の場合

工場出荷時	
設定項目	最大 26 文字

#### [WEP Key 2]

WEP キーを設定する。

以下の場合は表示しない。

Infrastructure Mode が Disable の場合

Connection Method が WEP 以外の場合

工場出荷時	
設定項目	最大 26 文字

#### [WEP Key 3]

WEP キーを設定する。

以下の場合は表示しない。

Infrastructure Mode が Disable の場合

Connection Method が WEP 以外の場合

工場出荷時	
設定項目	最大 26 文字

#### [WEP Key 4]

WEP キーを設定する。

以下の場合は表示しない。

Infrastructure Mode が Disable の場合

Connection Method が WEP 以外の場合

工場出荷時	
設定項目	最大 26 文字

#### [Output Level]

電波の出力を設定する。

Infrastructure Mode が Disable の場合は表示しない。

工場出荷時	100%
設定項目	100%, 50%, 25%, 12.5%

#### [Automatic Setting]

周辺の SSID をスキャンし、SSID のリストを表示する。

ユーザが一つの SSID を選択すると、ビーコン情報からインフラストラクチャーの設定項目へ反映される。

Infrastructure Mode が Disable の場合は表示しない。

#### 【Status】

Infrastructure Mode が Disable の場合は表示しない。

#### [Infrastructure Connection]

インフラストラクチャーの接続状態を表示する。

この設定は変更できない。

#### [SSID]

SSID を表示する。

この設定は変更できない。

#### [Security]

無線 LAN のセキュリティの状態を表示する。

この設定は変更できない。

#### [RSSI]

無線 LAN のセキュリティの状態を表示する。

この設定は変更できない。

### 3.5.6. RFID

#### Chrome 例

Web Utility

Maintenance

Download

Parameter Setting

- Standard
- Print Service
- Device
- LAN
- Wireless LAN
- **RFID**
- SOTI
- Security

Tool

EMUL-Z

EMUL-S

EMUL-D

PDF Print

Service

**RFID**

**RFID Standard**

Module Type	None
Tag Type	None
Country Code	JPN

**UHF Setting**

Power Level	18
Q Value	0
AGC Threshold	0
Write AGC Threshold	0
Write Retry Min AGC	0
RF Channel	AUTO
Calibration Mode	Disable
Calibration AGC	0
Calibration Position	0 mm
Antenna Position	Front

**Retry**

Write Retry Position	0 mm
Issue Retry Labels	3 labels
Read Retry Count	5 times
Read Retry Time	4.0 sec
Write Retry Count	5 times
Write Retry Time	2.0 sec

**Other**

Multi Write	Disable
Head Up Action	Mode1

Submit    Reset

#### 【RFID Standard】

##### [Module Type]

プリンタに取付けられた RFID モジュールのタイプを設定する。

工場出荷時	None
設定項目	None, UHF Band(U4), HF Band(H3) (BX410 のみ)

##### [TAG Type]

RFID タグのタイプを設定する。

工場出荷時	None
設定項目	None, EPC C1 Gen2 (Module Type が UHF Band(U4) のみ) ISO 15693 (Module Type が HF Band(H3) のみ), ISO 14443 (Module Type が HF Band(H3) のみ)

##### [Country Code]

設定されたカントリーコードが表示される。

この設定は変更できない。

## 【UHF Setting】

### [Power Level]

UHF 帯の無線出力レベルを設定する。

工場出荷時	RFID モジュールによる
設定範囲	0~18

### [Q Value]

RFID タグを検出する感度を設定する。

工場出荷時	0
設定範囲	0~15

### [AGC Threshold]

RFID タグへの書込みエラーの判定基準となる AGC スレッショルド値を設定する。

工場出荷時	0
設定範囲	0~15

### [Write AGC Threshold]

RFID タグへの書込みを実行する判定基準となるしきい値を設定する。

工場出荷時	0
設定範囲	0~15

### [Write Retry Min AGC]

RFID タグへの書込みのリトライを実行する判定基準となる下限値を設定する。

工場出荷時	0
設定範囲	0~15

### [RF Channel]

RFID の書込みに使用するチャンネルを設定する。

工場出荷時	AUTO
設定項目	AUTO、2 CH、3 CH、4 CH、5 CH、6 CH、7 CH、8 CH

### [Calibration Mode]

RFID キャリブレーションモードを設定する。

工場出荷時	Disable
設定項目	Disable, Enable

### [Calibration AGC]

RFID 書込み／読み込み発行動作時の、最適書込み／読み込み位置での AGC 値を設定する。

工場出荷時	0
-------	---

設定項目	0~15
------	------

[Calibration Position]

RFID 書込み／読み込み発行動作時の、ホームポジションからの最適書込み／読み位置を設定する。

工場出荷時	0.0
設定項目	-999.9~999.9 mm

[Antenna Position]

RFID アンテナの位置を設定する。

工場出荷時	Front
設定項目	Front, Center, Rear

【Retry】

[Write Retry Position]

再発行で書き込みをリトライするときに正転／逆転フィードする量を設定する。

工場出荷時	0 mm
設定範囲	-99~99 mm

[Issue Retry Labels]

再発行でリトライする枚数を設定する。

工場出荷時	3 labels
設定範囲	0 to 255 labels

[Read Retry Count]

読み取りをリトライする回数を設定する。

工場出荷時	5 times
設定範囲	0 to 255 times

[Read Retry Time]

読み取りをリトライする時間を設定する。

工場出荷時	4.0 sec
設定範囲	0.0 to 9.9 sec

[Write Retry Count]

書き込みをリトライする回数を設定する。

工場出荷時	5 times
設定範囲	0 to 255 times

[Write Retry Time]

書き込みリトライ時間を設定する。

工場出荷時	2.0 sec
設定範囲	0.0 to 9.9 sec

【Other】

[Multi Write]

Gen2 互換の響チップで、データの書き込み時間を短縮するための機能を使用するか否かを設定選択する。

工場出荷時	Disable
設定項目	Disable, Enable

[Head Up Action]

RFID タグをバックフィードさせる時のヘッドアップ動作を設定する。

工場出荷時	Mode1
設定範囲	Mode1, Mode2

### 3.5.7. SOTI

#### Chrome 例

Web Utility

SOTI

General

MQTT

Host Name or IP Address	Enable
Port Number	8883
User Name	
Password	
Tenant ID	
Keep Alive	60
Secure Communication	Enable

Certificate

HTTPS Server Certificate

Not Installed
Select File
Download
Delete

MQTTS Server Certificate

Not Installed
Select File
Download
Delete

Client Certificate

Not Installed
Select File
Download
Delete

Client Certificate

Not Installed
Select File
Download
Delete

Submit    Reset

#### 【General】

##### [MQTT]

MQTT 機能を有効にするかを設定する。

工場出荷時	Disable
設定項目	Disable, Enable

##### [Host Name or IP Address]

MQTT 機能で接続先 IP アドレスまたはホスト名を設定する。

工場出荷時	
設定範囲	最大 255 文字

##### [Port Number]

MQTT 機能で使用するポート番号を設定する。

工場出荷時	8883
設定範囲	1～65534

##### [User Name]

認証を行うためのユーザ名を設定する。

工場出荷時	
設定項目	最大 40 文字

#### [Password]

認証を行うためのパスワードを設定する。

工場出荷時	
設定項目	最大 40 文字

#### [Tenant ID]

テナント ID を設定する。

工場出荷時	
設定項目	最大 40 文字

#### [Keep Alive]

Keep Alive パケットの送信間隔を設定する。

工場出荷時	60
設定項目	60～600

#### [Secure Communication]

MQTT 通信をセキュア通信にするかどうかを設定する。

工場出荷時	Enable
設定項目	Disable, Enable

### 【Certificate】

#### [HTTPS Server Certificate]

送信する HTTPS サーバー証明書ファイルを設定する。

ファイルを選択する

#### [MQTTS Server Certificate]

送信する MQTTS サーバー証明書ファイルを設定する。

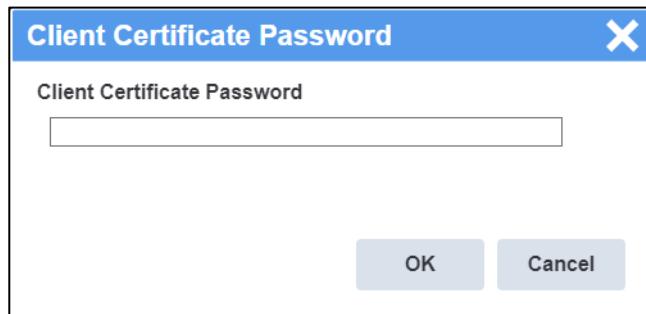
ファイルを選択する

#### [Client Certificate]

送信するクライアント証明書ファイルを設定する。

ファイルを選択する

Download ボタンが押下されるとパスワードを入力するポップアップが表示される。



### 3.5.8. Security

Chrome 例

The screenshot shows the 'Web Utility' interface with a sidebar containing various settings like Maintenance, Download, Parameter Setting, and Security. The Security section is selected. It includes tabs for Device Certificate (self-signed certificate selected), Client Certificate (Not Created), and Certificate Setting (Signature Algorithm: SHA256, Public Key: RSA2048). There are buttons for Create, Export, Import, Select File, Download, Delete, and a checkbox for certificate.crt. At the bottom are Submit and Reset buttons.

【Device Certificate】

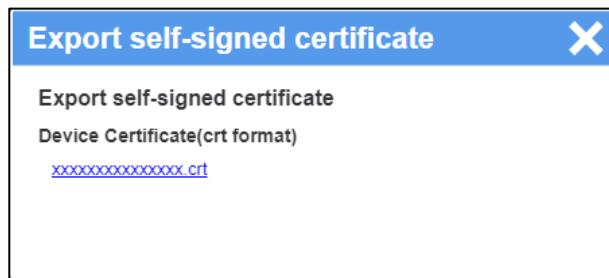
[self-signed certificate]

自己証明書の作成、エクスポートが可能。

作成画面

The dialog box is titled 'Create self-signed certificate'. It contains fields for Country/Region Name, State or Province Name, Locality Name, Organization Name, Organizational Unit Name, Common Name, Email Address, and Validity Period (set to 36 months). At the bottom are Create and Cancel buttons.

エクスポート画面



[import]

デバイス証明書のインポートが可能。

#### 【Client Certificate】

クライアントの証明書を作成する。

作成画面

Country/Region Name	<input type="text"/>
State or Province Name	<input type="text"/>
Locality Name	<input type="text"/>
Organization Name	<input type="text"/>
Organizational Unit Name	<input type="text"/>
Common Name	<input type="text"/>
Validity Period	36 <input type="text"/> month(s)(1-99)
Password	<input type="password"/>
<input type="button" value="Create"/> <input type="button" value="Cancel"/>	

#### 【Certificate Setting】

[Signature Algorithm]

証明書の署名アルゴリズムを設定する。

工場出荷時	SHA256
設定項目	SHA1, SHA256, SHA384, SHA512

[Public Key]

証明書の公開キーを設定する。

工場出荷時	RSA2048
設定項目	RSA1024, RSA2048

#### 【CA Certificate】

CA 証明書を最大 10 個まで登録できる。

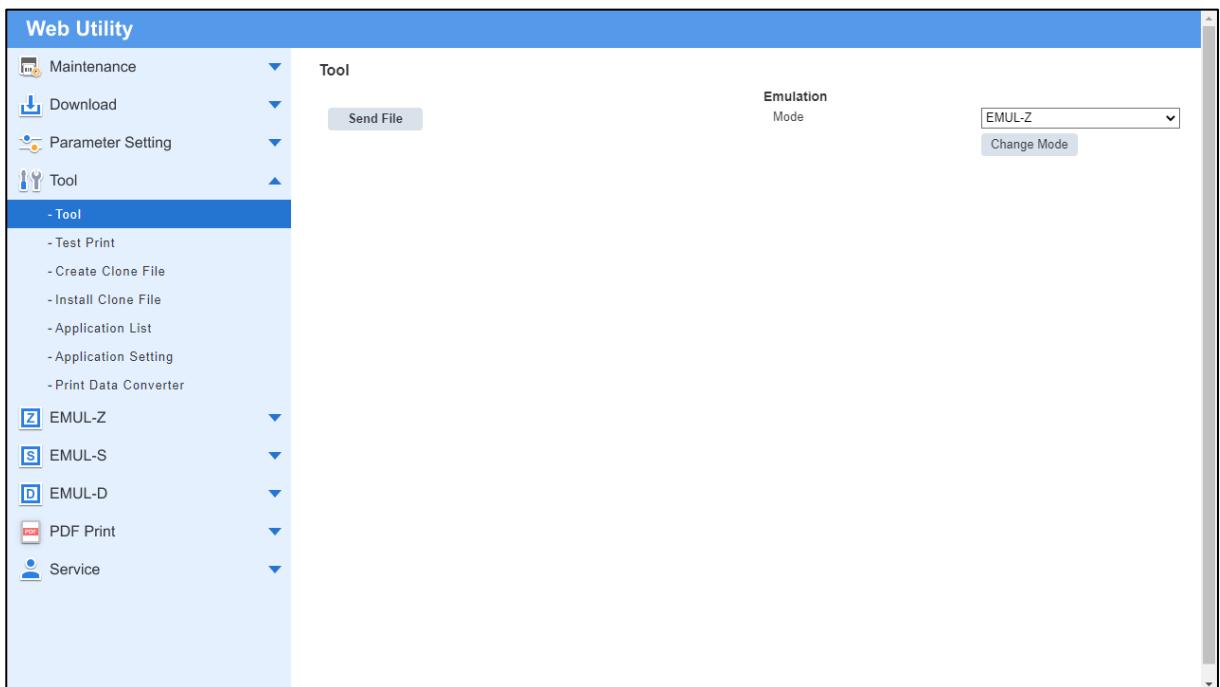


### 3.6. Tool

#### 3.6.1. Tool

項目名	内容	備考
Send File	<p>指定したファイルがバイナリデータとしてプリンタに送信される。</p> <p>クリックすると、ファイルの選択画面が表示される。任意のファイルを指定して [開く] をクリックすると、処理が開始される。</p> <p>処理を開始すると進行状況画面が表示され、完了すると完了画面が表示される。</p> <p>プリンタがビジー状態の時にこの操作を行うとエラーメッセージが表示される。</p> <p>[ビジー条件]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>クローニング作成・インストール実行中</li> <li>ファームウェアインストール中</li> <li>アプリケーションインストール・アンインストール実行中</li> <li>アプリケーション実行中</li> <li>ステータスがオンラインモード及び省電力中ではない場合</li> </ul> <p>[エラーメッセージ]</p> <p>プリンターが動作中のため操作を実行できません。</p>	
Change Mode	<p>プリンタのエミュレーション機能を切り替える。</p> <p>設定項目 : TPCL, AUTO 1, AUTO 2, EMUL-Z, EMUL-S, EMUL-D, EMUL-I</p> <p>プリンタがビジー状態の時にこの操作を行うとエラーメッセージが表示される。</p> <p>[ビジー条件]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>クローニング作成・インストール実行中</li> <li>ファームウェアインストール中</li> <li>ジョブ実行中</li> <li>アプリケーションインストール・アンインストール実行中</li> <li>アプリケーション実行中</li> <li>ステータスがオンラインモード及び省電力中ではない場合</li> </ul> <p>[エラーメッセージ]</p> <p>プリンターが動作中のため操作を実行できません。</p>	

Chrome 例



### 3.6.2. Test Print

印字パターン、発行条件を設定した上で TestPrint ボタンを押すことでテスト印字ができる。

プリンタがビジー状態の時にこの操作を行うとエラーメッセージが表示される。

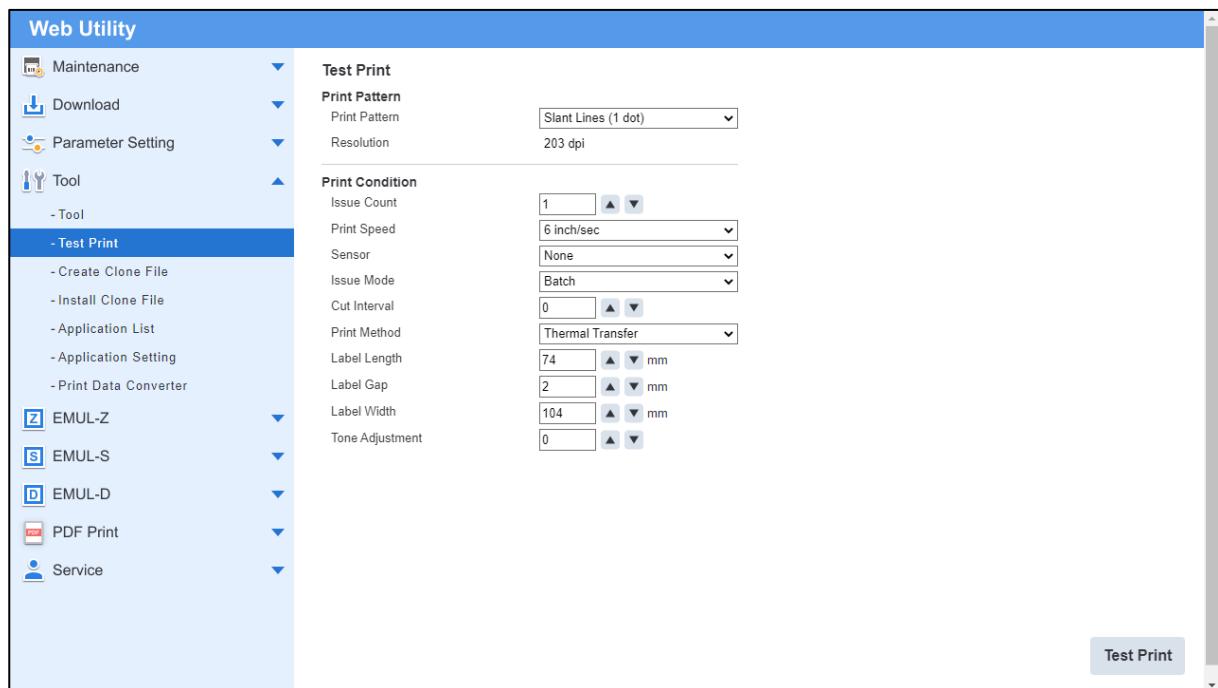
#### [ビジー条件]

- クローニング作成・インストール実行中
- ファームウェアインストール中
- アプリケーションインストール・アンインストール実行中
- アプリケーション実行中
- ステータスがオンラインモード及び省電力中ではない場合

#### [エラーメッセージ]

パネル操作中か、他のサービスが実行中です。

Chrome 例



#### 【Print Pattern】

##### [Print Pattern]

印字するパターンを選択する。

デフォルト値	Slant Lines (1 dot)
設定項目	Slant Lines (1 dot), Slant Lines (3 dots), Characters, Barcodes

##### [Resolution]

装着されているヘッドの解像度を表示する。

この値は設定変更できない。

#### 【Print Condition】

##### [Issue Count]

印字する枚数を指定する。

デフォルト値	1
設定範囲	1~9999

##### [Print Speed]

印字する速度を選択する。

デフォルト値	5 inch/sec
設定項目	3 inch/sec, 5 inch/sec, 8 inch/sec, 10 inch/sec, 12 inch/sec, 14 inch/sec

##### [Sensor]

センサーを選択する。

デフォルト値	None
設定項目	None, Reflective, Transmissive, Transmissive (Preprinted Labels), Reflective (Manual)

##### [Issue Mode]

発行タイプを選択する。

デフォルト値	No Cut
設定項目	No Cut, With Cut, Peel-off

##### [Cut Interval]

カットする間隔を指定する。

デフォルト値	0
設定範囲	0~100

##### [Print Method]

印字方式を選択する。

デフォルト値	Thermal Transfer
設定項目	Thermal Transfer, Direct Thermal

##### [Label Length]

ラベルの有効印字長を指定する。

デフォルト値	74 mm
--------	-------

設定範囲	6~1498 mm
------	-----------

[Label Gap]

ラベル間のギャップ長を指定する。

デフォルト値	2 mm
設定範囲	0~20 mm

[Label Width]

ラベルの有効印字幅を指定する。

デフォルト値	104
設定範囲	10~104

[Tone Adjustment]

濃度微調整を指定する。

[印字方式] で指定した方式の濃度微調コマンドのみが送信される。濃度微調コマンドで設定された値は、再設定されるまで有効になる。

デフォルト値	0
設定範囲	-20~+10

### [Test Print]

指定した条件でプリンタから印字される。

クリックすると、処理が開始される。

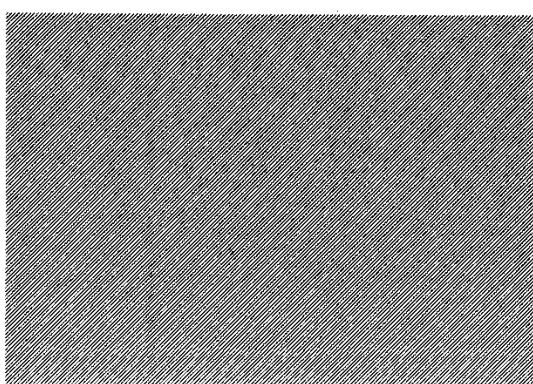
処理を開始するとポップアップ画面が表示され、完了すると完了画面が表示される。

ファイルの読み込み、または、イメージデータの作成に失敗した場合、エラーメッセージが表示される。

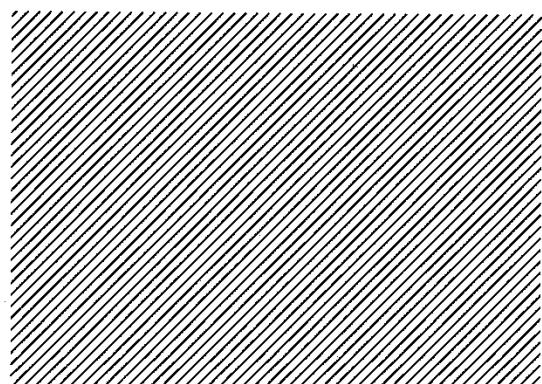
印刷中に印刷が一時停止された場合は、一時停止のメッセージが表示される。

※印字例は BA400 (300dpi) の場合

斜線 1 ドット



斜線 3 ドット



キャラクタ

JA モデル：ゴシック+明朝



バーコード



QM/CN/QQ モデル：ゴシック+中国語



### 3.6.3. Create Clone File

クローニングファイルを作成する。

## Chrome 例

The screenshot shows the 'Web Utility' interface with a sidebar and a main content area. The sidebar contains links like Maintenance, Download, Parameter Setting, Tool, Create Clone File (which is selected), Install Clone File, Application List, Application Setting, Print Data Converter, EMUL-Z, EMUL-S, EMUL-D, PDF Print, and Service. The main content area has sections for 'Create Clone File' (instructions to create a file for other machines) and 'Clone File' (Device Name: Not Created, Printer Model, Version, Date Created). A 'Create' button is at the bottom right.

項目名	内容	備考
Device Name	クローニングファイルを作成後、ファイルをダウンロードするためのリンクが表示される。	
Printer Model	作成したクローニングファイルの実行モデル名が表示される。	
Version	作成したクローニングファイルの実行バージョンが表示される。	
Date Created	クローニングファイルの作成日時が表示される。	
Create	<p>クローニングファイルを作成する。</p> <p>プリンタがビジー状態の時にこの操作を行うとエラーメッセージが表示される。</p> <p>[ビジー条件]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>クローニング作成・インストール実行中</li> <li>ファームウェアインストール中</li> <li>ジョブ実行中</li> <li>アプリケーションインストール・アンインストール実行中</li> <li>eCCが接続中もしくは実行中</li> </ul> <p>[エラーメッセージ]</p> <p>プリンターが動作中のため操作を実行できません。</p>	

### 3.6.4. Install Clone File

作成済みのクローニングファイルをインストールすることができる。

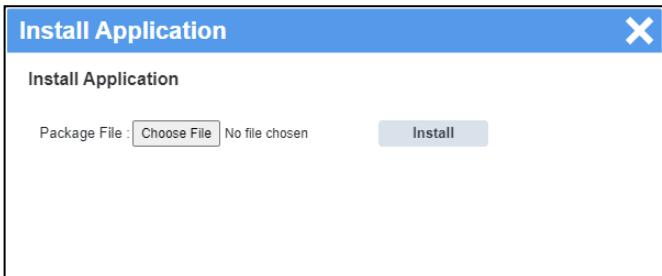
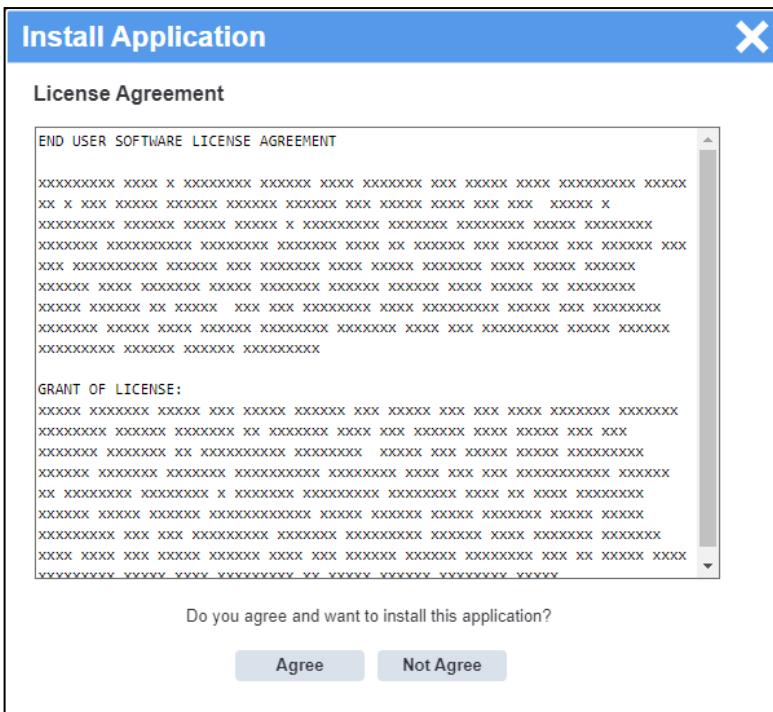
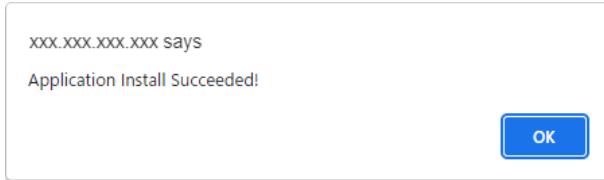
Chrome 例

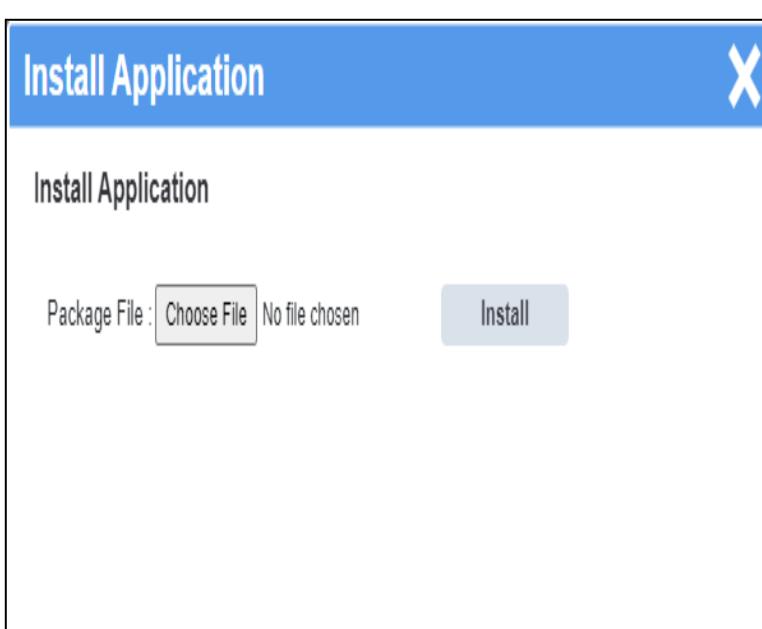
項目名	内容	備考
File Download	機体に適用するクローニングファイルを選択する。 クリックすると、ファイルの選択画面が表示される。任意のファイルを指定して [Download] をクリックすると、選択されたファイルがプリンタに送信される。 完了するとファイルの情報が表示される。	
Device Name	クローニングファイルの実行装置名が表示される。	
Printer Model	クローニングファイルの実行モデル名が表示される。	
Version	クローニングファイルの実行バージョンが表示される。	
Date Created	クローニングファイルの作成日時が表示される。	
Install	指定したクローニングファイルをインストールする。  プリンタがビジー状態の時にこの操作を行うとエラーメッセージが表示される。 [ビジー条件] クローニング作成・インストール実行中 ファームウェアインストール中 ジョブ実行中 アプリケーションインストール・アンインストール実行中 アプリケーション実行中 ステータスがオンラインモード及び省電力中ではない場合 eCCが接続中もしくは実行中  [エラーメッセージ] プリンターが動作中のため操作を実行できません。	



### 3.6.5. Application List

アプリケーション一覧を表示する。

項目名	内容	備考
Install	<p>クリックするとアプリケーションファイルを選択するポップアップが表示される。</p>  <p>ファイルを選択し[Install]をクリックすると、指定したアプリケーションファイルに含まれる使用許諾確認メッセージが表示される。</p>  <p>「Agree」をクリックするとインストールが開始する。      「Not Agree」をクリックすると、中止する。</p> <p>インストールが成功すると以下メッセージが表示される。</p>  <p>プリンタがビジー状態の時にこの操作を行うとエラーメッセージが表示される。      [ビジー条件]</p>	<p>アプリケーションが無効設定となっている場合は、このボタンはグレーアウトされる。</p>

	<p>クローニング作成・インストール実行中 ファームウェアインストール中 ジョブ実行中 アプリケーションインストール・アンインストール実行中 アプリケーション実行中 ステータスがオンラインモード及び省電力中ではない場合 [エラーメッセージ] プリンターが動作中のため操作を実行できません。</p>	
Uninstall	<p>アプリケーションのアンインストールを行う。  アンインストールが成功すると以下メッセージが表示される。</p>  <p>プリンタがビジー状態の時にこの操作を行うとエラーメッセージが表示される。 [ビジー条件] クローニング作成・インストール実行中 ファームウェアインストール中 ジョブ実行中 アプリケーションインストール・アンインストール実行中 アプリケーション実行中 ステータスがオンラインモード及び省電力中ではない場合 [エラーメッセージ] プリンターが動作中のため操作を実行できません。</p>	
Details	<p>Details ボタンの押下でアプリケーションの詳細を表示する。</p> 	

Chrome 例

**Web Utility**

-  Maintenance
-  Download
-  Parameter Setting
-  Tool
  - Tool
  - Test Print
  - Create Clone File
  - Install Clone File
  - Application List**
  - Application Setting
  - Print Data Converter
-  EMUL-Z
-  EMUL-S
-  EMUL-D
-  PDF Print
-  Service

**Application List**

**Embedded Application**

Installing or using application(s) constitutes your acceptance of terms and conditions. If you do not accept those terms and conditions, you may not install or use application(s), and you must promptly uninstall the application(s). Terms and conditions for each application is available through application details link.

	Application Name	Version	Uninstall	Details
	Test Application	1.0.0	<a href="#">Uninstall</a>	<a href="#">Details</a>

**Install**

90

### 3.6.6. Application Setting

アプリケーションに関する設定を行う。

Chrome 例

The screenshot shows the 'Web Utility' application's settings page. On the left, there's a sidebar with various menu items like Maintenance, Download, Parameter Setting, Tool, and EMUL-Z. The 'Application Setting' item under 'Tool' is currently selected and highlighted in blue. The main content area has several sections: 'General' (Framework Version: 3.1.0), 'Embedded Application Setting' (Enable Application: Enable, Default Screen: Application, Developer Mode: Enable), 'Application Data' (a table showing 'Test Application' with columns for Application Name, Debug Log, and Debug Level), and 'Available USB Device List' (a table showing an Audio device with columns for Device Kind, Vendor ID, Product ID, Vendor Name, and Product Name). At the bottom right are 'Submit' and 'Reset' buttons.

【General】

[Framework Version]

フレームワークのバージョン（App Version）が表示される。

この設定は変更できない。

【Embedded Application Setting】

[Enable Application]

アプリケーションの有効/無効を設定する。

工場出荷時	Enable
設定項目	Disable, Enable

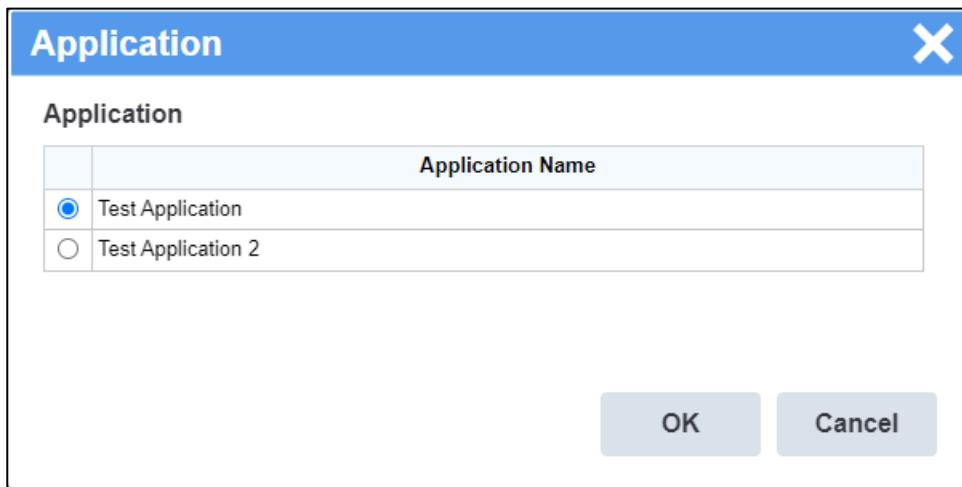
[Default Screen]

デフォルト UI を設定する。

アプリケーションが選択された場合、アプリケーションの割り当てボタンが表示される。

工場出荷時	Online Mode
設定項目	Online Mode, Application

【アプリケーション割り当て画面】



#### [Developer Mode]

アプリケーションの開発者モードを設定する。

工場出荷時	Disable
設定項目	Disable, Enable

この設定は AppDeveloper ユーザでログインしている場合のみ表示される。

#### 【Application Data】

##### [Debug Log]

ボタンを押下することにより、アプリケーションのデバッグルогを保存する。

##### [Debug Level]

アプリケーションのデバッグルогレベルを選択します。

工場出荷時	2 - Warning
設定項目	0 - None, 1 - Error, 2 - Warning, 3 - Info, 4 - Debug

#### 【Available USB Device List】

アプリケーションが利用できる外部 USB デバイスの情報を表示する。

この情報は変更できない。

#### 3.6.7. Print Data Converter

プリントデータコンバーターを設定する。

Chrome 例

**Web Utility**

- Maintenance
- Download
- Parameter Setting
- Tool
  - Tool
  - Test Print
  - Create Clone File
  - Install Clone File
  - Application List
  - Application Setting
  - Print Data Converter
- EMUL-Z
- EMUL-S
- EMUL-D
- PDF Print
- Service

**Print Data Converter**

**Print Data Converter Setting**

Print Data Converter	Disable
----------------------	---------

**Import New Converter**

Select File No file chosen Import

**Current Converter**

File Name	File Size	Date
PrintDataConverter.json	512	Thu Jun 15 18:25:35 2023

**Submit** **Reset**

### 【Print Data Converter Setting】

#### [Print Data Converter]

プリントデータコンバーター機能の有効/無効を設定する。

工場出荷時	Disable
設定項目	Disable, Enable

### 【Import New Converter】

コンバーターの設定ファイルをインポートする。

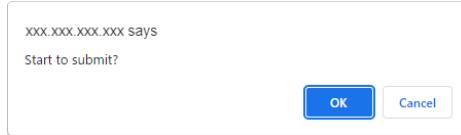
### 【Current Converter】

インポートされているコンバーターの設定ファイルを表示する。

### 3.7. EMUL-Z

#### 3.7.1. Parameter

EMUL-Z のシステムモードパラメータを設定する。プリンタ本体の設定項目と同じ内容が設定できる。

Reset to Default	設定内容を破棄し工場出荷時の設定値に戻す	
Submit	<p>プリンタのパラメータの設定値を更新する。 画面の設定が間違っていた場合、エラーメッセージが表示される。</p>  <p>確認画面から OK を押すと、更新が始まる。 更新が完了するとページ内容が更新される。</p>	
Reset	各種パラメータをページ表示時に取得した設定値に戻す	

※ プリンタ側のモードが Emulation となっている場合は、強制的に TPCL モードに移行してダウンロードする。ダウンロード後は、TPCL モードのままとなるため使用するモードに変更すること。

## Chrome 例

**Web Utility**

- [Maintenance](#)
- [Download](#)
- [Parameter Setting](#)
- [Tool](#)
- [EMUL-Z](#)
- [- Parameter](#)
  - Init Value
  - Font Table
  - Drive Mapping
  - Response Command
- [EMUL-S](#)
- [EMUL-D](#)
- [PDF Print](#)
- [Service](#)

**Parameter**

Label Length	74.0	<input type="button" value="▲"/>	<input type="button" value="▼"/>
Label Width	104.0	<input type="button" value="▲"/>	<input type="button" value="▼"/>
Ribbon	Without Ribbon		
Print Mode	No Cut		
Sensor	None		
Print Speed	6 inch/sec		
Max. Label Length (for Calibration)	500.0	<input type="button" value="▲"/>	<input type="button" value="▼"/>
Calibration After Power On	None		
Calibration After Head Close	None		
DOT/MM	12 or 8 dot/mm		
Format Convert	None		

**Code Setting**

Control Prefix(~)	7E	<input type="button" value="▲"/>	<input type="button" value="▼"/>
Format Prefix(=)	5E	<input type="button" value="▲"/>	<input type="button" value="▼"/>
Delimiter Char(.)	2C	<input type="button" value="▲"/>	<input type="button" value="▼"/>

**Effective Command**

<input type="checkbox"/> Label Size(LL)	
<input type="checkbox"/> Label Type(MN)	
<input type="checkbox"/> Media Type(MT)	
<input type="checkbox"/> Tone Adjust(SD)	
<input type="checkbox"/> Tone Adjust(MD)	

**Graphic Position**

Tab -> Space	4	<input type="button" value="▲"/>	<input type="button" value="▼"/>
RFID Tag Position Adjust	0.0	<input type="button" value="▲"/>	<input type="button" value="▼"/>
RFID Offset Print	None		
Label Shift	0.0	<input type="button" value="▲"/>	<input type="button" value="▼"/>

### [Label Length]

工場出荷時	105.0mm
設定項目	10.0 ~ 1500.0mm (BX410, BX420, BX610, BX620) 5.0 ~ 500.0mm (BX430)

### [Label Width]

工場出荷時	104.0mm
設定項目	10.0 ~ 104.0mm (BX400 series) 10.0 ~ 160.0mm (BX600 series)

### [Ribbon] BX420 D モデルでは非表示

工場出荷時	WITH RIBBON SAVE
設定項目	WITHOUT RIBBON, WITH RIBBON SAVE, WITH RIBBON, WITHOUT RIBBON H

### [Print Mode]

※RFID 非対応モデルでは” RFID ” オプションを表示しない

工場出荷時	No Cut
設定項目	No Cut, Peel Off, Peel Off A, With Cut, Delayed Cut, RFID

[Sensor]

工場出荷時	Trans
設定項目	None, Reflect, Trans, Trans Preprint, Reflect Manual T

[Print Speed]

工場出荷時	3 inch/sec (BX430) 5 inch/sec (BX410 305dpi, BX420 300dpi, BX610, BX620) 6 inch/sec (BX410 203dpi, BX420 203dpi)
設定項目	3 inch/sec, 6 inch/sec, 10 inch/sec, 12 inch/sec, 14 inch/sec (BX410 203dpi) 3 inch/sec, 5 inch/sec, 8 inch/sec, 10 inch/sec, 12 inch/sec, 14 inch/sec (BX410 305dpi) 3 inch/sec, 6 inch/sec, 10 inch/sec, 12 inch/sec (BX420 203dpi) 3 inch/sec, 5 inch/sec, 8 inch/sec, 10 inch/sec, 12 inch/sec (BX420 300dpi, BX610, BX620) 2 inch/sec, 3 inch/sec, 4 inch/sec, 5 inch/sec, 6 inch/sec (BX430)

[Max. Label Length (for Calibration)]

工場出荷時	500.0 mm
設定項目	10.0~1500.0mm (BX410, BX420, BX610, BX620) 10.0~500.0mm (BX430)

[Calibration After Power On]

工場出荷時	Calibrate
設定項目	Calibrate, Short Calibrate, Set Length, None, Feed

[Calibration After Head Close]

工場出荷時	Calibrate
設定項目	Calibrate, Short Calibrate, Set Length, None, Feed

[DOT/MM]

工場出荷時	12 or 8 dot/mm (BX410, BX420, BX610, BX620) 24 dot/mm (BX430)
設定項目	12 or 8 dot/mm, 6 or 4 dot/mm (BX410, BX420, BX610, BX620) 24 dot/mm, 12 dot/mm (BX430)

【Format Convert】

工場出荷時	None
設定項目	None, 150 → 300, 150 → 600, 200 → 600, 300 → 600

【Code Setting】

【Control Prefix(~)】

工場出荷時	7E
設定項目	00 ~ FF (16進数)

【Format Prefix(^)】

工場出荷時	5E
設定項目	00 ~ FF (16進数)

【Delimiter Char(.)】

工場出荷時	2C
設定項目	00 ~ FF (16進数)

【Effective Command】

コマンドパラメータとシステムモードパラメータ(本ツールおよびプリンタ本体による設定)のどちらを有効とするのかを、チェック有／無により設定する。

チェック有りの場合：コマンドパラメータが有効となる。(システムモードパラメータは無効)

チェック無しの場合：システムモードパラメータが有効となる。(コマンドパラメータは無効)

[Label Size(LL)]

[Label Type(MN)]

[Media Type(MT)]

[Tone Adjust(SD)]

[Tone Adjust(MD)]

【Graphic Position】

工場出荷時	Speed-Oriented
設定項目	Speed-Oriented, Precise Position

【Tab → Space】

工場出荷時	4
設定項目	0 ~ 99

【RFID Tag Position Adjust】 BX420, BX430, BX620 では非表示

工場出荷時	0.0 mm
設定項目	-999.9～+999.9 mm

[RFID Offset Print] BX420, BX430, BX620 では非表示

工場出荷時	None
設定項目	None, Without Backfeed, With Backfeed

[Label Shift]

工場出荷時	0.0 mm
設定項目	-999.9～+999.9 mm

### 3.7.2. Init Value

EMUL-Z でコマンドやパラメータが省略された場合の初期値とコンバータ内部の動作を設定する。

Reset to Default	設定内容を破棄し工場出荷時の設定値に戻す	
Submit	<p>プリンタのパラメータの設定値を更新する。 画面の設定が間違っていた場合、エラーメッセージが表示される。</p>  <p>確認画面から OK を押すと、更新が始まる。 更新が完了するとページ内容が更新される。</p>	
Reset	各種パラメータをページ表示時に取得した設定値に戻す	

※ プリンタ側のモードが Emulation となっている場合は、強制的に TPCL モードに移行してダウンロードする。ダウンロード後は、TPCL モードのままとなるため使用するモードに変更すること。

## Chrome 例

**Web Utility**

- [Maintenance](#)
- [Download](#)
- [Parameter Setting](#)
- [Tool](#)
- [EMUL-Z](#)
  - Parameter
- [- Init Value](#)
  - Font Table
  - Drive Mapping
  - Response Command
- [EMUL-S](#)
- [EMUL-D](#)
- [PDF Print](#)
- [Service](#)

**Init Value**

**Barcode(BY)**

Default Height	10
Module Size	2
Narrow to Wide Bar Ratio	3.0

**Graphic(GB,GC,GD)**

Line Weight	1
-------------	---

**Field(FP)**

Text Rotation	Normal (Left to Right)
Inter Character Space	0

**Darkness(SD,MD)**

Tone Fine Adjust Value	0
------------------------	---

**Code Page(CI)**

Character Set	0
---------------	---

**Label(LH,LS,PM,PO,PF,LT)**

X Position of Label Home Position	0
Y Position of Label Home Position	0
Label Rotation / Mirror Print	Bottom First
Y Position Offset	0
Feed Amount Fine Adjust	0

**Field Block(FB)**

Field Width	0
Number of Lines	1
Space Dot Between Lines	-997
Alignment	Align Left
X Position Correction	0

**Print(PQ)**

Print Count	1
Cut Interval	0

**PC Save Area Allocate**

Format Data Area	0
------------------	---

**GETCMDZB**

Get data from	Receive buffer
---------------	----------------

### 【BarCode (BY)】

#### [Default Height]

工場出荷時	10
設定範囲	1 ~ 999

#### [Module Size]

工場出荷時	2
設定範囲	1 ~ 10

#### [Narrow to Wide Bar Ratio]

工場出荷時	3.0
設定範囲	2.0 ~ 3.0

### 【Field(FP)】

#### [Text Rotation]

工場出荷時	Normal (Left to Right)
設定範囲	Normal (Left to Right), Vertical, Reverse (Right to Left)

#### [Inter-Character Space]

工場出荷時	0
-------	---

100

設定範囲	0 ~ 999
------	---------

【Serialization(SN)】

[INC/DEC]

工場出荷時	1
設定範囲	-9999999999 ~ 9999999999

[Zero Suppress]

工場出荷時	チェック有り(ゼロ埋めする)
設定範囲	チェック有り(ゼロ埋めする), チェック無し(ゼロ埋めしない)

【Unit(MU)】

[Unit]

工場出荷時	dot
設定範囲	dot, inch, mm

【Field Block(FB)】

[Field Width]

工場出荷時	0
設定範囲	0 ~ 9999

[Number of Lines]

工場出荷時	1
設定範囲	0 ~ 999

[Space Dot Between Lines]

工場出荷時	0
設定範囲	-999 ~ +999

[Alignment]

工場出荷時	Align Left
設定範囲	Align Left, Align Center, Align Right, Justify

[X Position Correction]

工場出荷時	0
設定範囲	0 ~ 999

【Graphic (GB, GC, GD)】

[Line Weight]

工場出荷時	1
-------	---

設定範囲	0 ~ 999
------	---------

【Darkness (SD, MD)】

[Tone Fine Adjust Value]

工場出荷時	0
設定範囲	-30 ~ 30

【Code Page (CI)】

[Character Set]

工場出荷時	0
設定範囲	0 ~ 30

【Label (LH, LS, PM, P0, PF, LT)】

[X Position of Label Home Position]

工場出荷時	0
設定範囲	0 ~ 9999

[Y Position of Label Home Position]

工場出荷時	0
設定範囲	0 ~ 9999

[Label Rotation / Mirror Print]

工場出荷時	Bottom First
設定範囲	Bottom First, Top First, Bottom First Mirror Print, Top First Mirror Print

[Y Position Offset]

工場出荷時	0
設定範囲	設定はできない。

[Feed Amount Fine Adjust]

工場出荷時	0
設定範囲	-120 ~ 120

【Print (PQ)】

[Print Count]

工場出荷時	1
設定範囲	1 ~ 9999

**[Cut Interval]**

工場出荷時	0
設定範囲	0 ~ 999

**【PC Save Area Allocate】**

**[Format Data Area]**

工場出荷時	0
設定範囲	0 ~ 99

**【GETCMDZB】**

**[Get data from]**

工場出荷時	Receive buffer
設定範囲	Receive buffer, BASIC application

### 3.7.3. Font Table

項目名	内容	備考
Add	フォント変換テーブルの行を追加する。 また、Add ボタン押下時の Width Correction Factor, Cap Height Correction 項目は「0」となる。	
Change	登録済みの行の設定を変更する	
Delete	追加した行を削除する	
OK	設定した内容を一覧表に反映させる	
Cancel	設定した内容をキャンセルする	
Font Table	ZMode のフォント変換テーブル設定	
Reset to Default	設定内容を破棄し工場出荷時の設定値に戻す	
Submit	設定内容をプリンタにダウンロード Emulation を OFF にした状態でなければダウンロードできません。 1 <sup>st</sup> リリースでは Emulation モードでもダウンロード可能。  XXX.XXX.XXX.XXX says Start to submit? OK Cancel	[OK]をクリックすると、処理が開始されます。 [キャンセル]をクリックすると、中止します。
Reset	各種パラメータをページ表示時に取得した設定値に戻す	

The screenshot shows the 'Web Utility' interface with the 'Font Table' configuration page selected. The left sidebar contains navigation links for Maintenance, Download, Parameter Setting, Tool, EMUL-Z (selected), EMUL-S, EMUL-D, PDF Print, and Service. The main area displays a table of font entries and configuration fields for adding new fonts.

**Font Table Data:**

Z Font Code	Z Font Name	Z Font Kind	Minimum Width	Minimum Height	TPCL Font Type	TPCL Font Code	BMP Width	BMP Capital Height	BMP Descender	Outline Capital Height	Outline Descender
0	Z:0.FNT	Scalable	0	0	True Type Font	Z0	0	0	0	755	245
1	Z:1.FNT	Bitmap Monospace	5	9	Bitmap Font	ZA	5	7	2	0	1000
2	Z:2.FNT	Bitmap Monospace	5	9	Bitmap Font	ZA	5	7	2	0	1000
3	Z:3.FNT	Bitmap	5	9	Bitmap Font	ZA	5	7	2	0	1000

**Font Table Configuration Fields:**

- Z Font:** Code (text input), Font Name (text input), Font Kind (dropdown: Scalable, Bitmap, Monospace), Minimum Width (number input), Minimum Height (number input).
- TPCL:** Type (dropdown: True Type Font, Bitmap Font), Code (text input), Inter-Character Space (number input), Width Correction Factor (number input), Height Correction Factor (number input), Cap Height Correction Factor (number input), Descender Correction Factor (number input), Store In (dropdown: Onboard Flash Memory).
- Buttons:** Add, Change, Delete, OK, Cancel, Reset to Default, Submit, Reset.

<フォント変換テーブル設定項目>

Z Font 関連

設定項目	説明
Z Font Code (コード)	Zebra フォントのフォントコード(0~9、A~Z)が表示されます。
Z Font Name (フォント名)	Zebra フォントのファイル名を設定する。 ※”Z:A.FNT”のようにファイル名は格納場所を含めて指定すること。 Z:ROM,R:RAM,B:FLASH CARD,E:COMPACT FLASH,A:ON BOARD FLASH
Z Font Kind (フォント種)	Zebra フォントの種類を設定する。種類は、次の 3 種類。 Scalable(0 フォント) Bitmap Monospace(A~H フォント) Bitmap Proportional(P~V フォント) ※ZPL II の仕様に基づき設定すること。
Min. Width (最小幅)	フォント種で設定したフォントの最小幅をドットで設定する。(1dot 単位) ※ZPL II の仕様に基づき設定すること。 ※Scalable フォント時は必ず 0 にすること。
Min. Height (最小高さ)	フォント種で設定したフォントの最小高さをドットで設定する。(1dot 単位) ※ZPL II の仕様に基づき設定すること。 ※Scalable フォント時は必ず 0 にすること。

### TPCL Font 関連

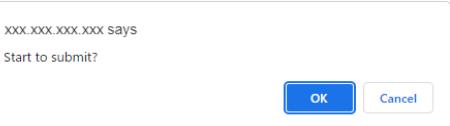
設定項目	説明
TPCL Font Type (種別)	Font Code で設定する TEC フォントの種類を設定する。 種類は、次の 4 種類。 Bitmap Font、Outline Font、GAIJI Font、True Type Font
TPCL Font Code (コード)	Z Font の変換対象となる TEC フォントを設定する。 ※外部機器 I/F 仕様(TPCL 仕様)に基づき設定すること。
BMP Width (BMP/外字 幅補正係数)	Font Code で設定した TEC ビットマップ及び外字フォントの幅補正量をドットで 設定する。(1dot 単位) 基本的にはフォント等倍時の幅サイズを設定する。 ※アウトライン/TTF フォント時には 0 にすること。
BMP Capital Height (BMP/外字 キャップハイト補正係数)	Font Code で設定した TEC ビットマップ及び外字フォントの高さに対するキャ ップハイトサイズをドットで設定する。(※1)(1dot 単位) 基本的にはフォント等倍時のキャップハイトサイズを設定する。 ※アウトライン/TTF フォント時には 0 にすること。
BMP Descender (BMP/外字 ディセンダ補正係数)	Font Code で設定した TEC ビットマップ及び外字フォントの高さに対するディ センダサイズをドットで設定する。(※2)(1dot 単位) 基本的にはフォント等倍時のディセンダサイズを設定する。 ※アウトライン/TTF フォント時には 0 にすること。
Outline Capital Height (アウトライン/TTF キャップハイト補正係数)	フォント値で設定した TEC アウトライン及び TrueType フォントの高さに対する キャップハイトサイズの割合をパーセンテージで設定する。(0.1%単位) ※下記のディセンダ補正率との和が 1000 になるよう設定すること。 ※Bitmap/外字フォント時には 0 にすること。
Outline Descender (アウトライン/TTF ディセンダ補正係数)	フォント値で設定した TEC アウトライン及び TrueType フォント高さに対するデ ィセンダサイズの割合をパーセンテージで設定する。(0.1%単位) ※上記のキャップハイト補正率との和が 1000 になるよう設定すること。 ※Bitmap/外字フォント時には 0 にすること。
Outline Width (アウトライン/TTF 幅補正係数)	Font Code で設定した TEC アウトライン及び TrueType フォントの幅補正量を パーセンテージで設定する。(1%単位、50~150、100% で補正無し) ※Bitmap/外字フォント時には 0 にすること。
Outline Height (アウトライン/TTF 高さ補正係数)	Font Code で設定した TEC アウトライン及び TrueType フォントの高さ補正量 をパーセンテージで設定。(1%単位、50~150、100% で補正無し) ※Bitmap/外字フォント時には 0 にすること。
BMP Character Space (BMP/外字 文字間隔)	Font Code で設定した TEC ビットマップ及び外字フォントの文字間スペース補 正量をドットで設定する。(1dot 単位、0dot で補正無し) ※アウトライン/TTF フォント時には 0 にすること。
Outline Character Space (アウトライン/TTF 文字間隔)	変換対象の TEC アウトライン及び TrueType フォントの文字間スペースの補 正量を文字幅に対するパーセンテージで設定する。(0.1%単位、0% で補正無 し) ※Bitmap/外字フォント時には 0 にすること。
Drive (格納場所)	変換対象の TEC フォントの格納場所を設定する。 ※外部機器 I/F 仕様(TPCL 仕様)に基づき設定すること。

\*1: キャップハイト … フォントのベースラインから上の部分の高さ。

\*2: ディセンダ … フォントのベースラインから下の部分の高さ。

### 3.7.4. Drive Mapping

コマンドで指定されたドライブを TPCL のどのドライブに割り当てるかを設定する。

項目名	内容	備考
Parameter	EMUL-Z のシステムモードパラメータ設定	
Reset to Default	設定内容を破棄し工場出荷時の設定値に戻す	
Submit	プリンタのパラメータの設定値を更新する。 画面の設定が間違っていた場合、エラーメッセージが表示される。  確認画面から OK を押すと。更新が始まる。 更新が完了するとページ内容が更新される。	
Reset	各種パラメータをページ表示時に取得した設定値に戻す	

※ プリンタ側のモードが Emulation となっている場合は、強制的に TPCL モードに移行してダウンロードする。ダウンロード後は、TPCL モードのままとなるので使用するモードに変更すること。

## Chrome 例

The screenshot shows the 'Web Utility' interface with a sidebar menu and a main configuration area.

**\_sidebar menu:**

- Maintenance
- Download
- Parameter Setting
- Tool
- EMUL-Z**
  - Parameter
  - Init Value
  - Font Table
  - Drive Mapping**
  - Response Command
- EMUL-S
- EMUL-D
- PDF Print
- Service

**Drive Mapping Settings:**

Z Drive	TPCL Drive
R: ----->	Ram
B: ----->	USB Memory
E: ----->	Onboard Flash Memory
A: ----->	USB Memory

**Buttons:**

- Reset to Default
- Submit
- Reset

### [TPCL Drive]

ZPL の ドライブに対応した TPCL ドライブを指定する。

設定項目	Onboard Flash Memory, USB Memory, RAM
------	---------------------------------------

### 3.7.5. Response Command

EMUL-Z コマンドに対する応答データを設定する。

項目名	内容	備考
Reset to Default	設定内容を破棄し工場出荷時の設定値に戻す	
Submit	<p>プリンタのパラメータの設定値を更新する。 画面の設定が間違っていた場合、エラーメッセージが表示される。</p>  <p>確認画面から OK を押すと、更新が始まる。 更新が完了するとページ内容が更新される。</p>	
Reset	各種パラメータをページ表示時に取得した設定値に戻す	

※ プリンタ側のモードが Emulation となっている場合は、強制的に TPCL モードに移行してダウンロードする。ダウンロード後は、TPCL モードのままとなるため使用するモードに変更すること。

## Chrome 例

The screenshot shows a web-based utility interface titled "Web Utility". On the left, there is a navigation menu with the following items:

- Maintenance
- Download
- Parameter Setting
- Tool
- EMUL-Z
  - Parameter
  - Init Value
  - Font Table
  - Drive Mapping
  - Response Command
- EMUL-S
- EMUL-D
- PDF Print
- Service

The "Response Command" item under EMUL-Z is currently selected, highlighted with a blue background. To the right of the menu, there is a table titled "Response Command" with the following rows:

Response Command
HI Command
HM Command
HS-1 Command
HS-2 Command
HS-3 Command
HQMA Command
HQMI Command
HQOD Command
HQPH Command
HQES Command
HQHA Command
HQJT Command
HQPP Command
HQSN Command
HQUI Command

At the bottom of the page are three buttons: "Reset to Default", "Submit", and "Reset".

### [HI Command]

HI コマンドの応答データを設定する。

### [HM Command]

HM コマンドの応答データを設定する。

### [HS-1 Command]

HS-1 コマンドの応答データを設定する。

### [HS-2 Command]

HS-2 コマンドの応答データを設定する。

### [HS-3 Command]

HS-3 コマンドの応答データを設定する。

### [HQMA Command]

HQMA コマンドの応答データを設定する。

### [HQMI Command]

HQMI コマンドの応答データを設定する。

### [HQOD Command]

HQOD コマンドの応答データを設定する。

### [HQPH Command]

HQPH コマンドの応答データを設定する。

### [HQES Command]

HQES コマンドの応答データを設定する。

[HQHA Command]

HQHA コマンドの応答データを設定する。

[HQJT Command]

HQJT コマンドの応答データを設定する。

[HQPP Command]

HQPP コマンドの応答データを設定する。

[HQSN Command]

HQSN コマンドの応答データを設定する。

[HQUI Command]

HQUI コマンドの応答データを設定する。

ZPL Command	コメント文字列	バイト数	受信データ
HI	プリンタモデル名-ヘッド dpi	可変長 省略可能	"B-SX4-200dpi" 等 MAX 63 バイト
		1	カンマ
	バージョン情報	可変長 省略可能	"C5.4" 等 MAX 63 バイト
		1	カンマ
	dots/mm	可変長 省略可能	8 12 数値のみ有効
		1	カンマ
	memory	可変長 省略可能	"512KB" "1024KB" "2048KB" "4096KB" "8192KB"
		1	カンマ
	オプション情報	可変長 省略可能	"CUTTER DETECTED" : カッター装着時 MAX 63 バイト
HM	全 RAM サイズ	可変長 省略可能	"8192" 等 数値のみ有効
		1	カンマ
	MaxRAM サイズ	可変長 省略可能	"8192" 等 数値のみ有効
		1	カンマ
	残 RAM サイズ	可変長 省略可能	RAM 残量 数値のみ有効
HS String1	Communication Setting	3 省略可能	詳細は ZPL II 仕様書を参照。 ピット仕立てのデータを Decimal Ascii にて送 信。 例) 7bit 目が ON の場合 16進 : 0x80 → 10進 : 128 送信データは"128" 数値のみ有効
		1	カンマ
	paper out flag	1 省略可能	0 1:紙切れ 数値のみ有効
		1	カンマ
	pause flag	1 省略可能	0 1:ポーズ中 数値のみ有効
		1	カンマ
	label length	可変長 省略可能	ラベル長 数値のみ有効
		1	カンマ
	number of formats in receive buffer	可変長 省略可能	0~999 XA~XZ フォーマット数 数値のみ有効
		1	カンマ

ZPLCommand	コメント文字列	バイト数	受信データ
	buffer full flag	1 省略可能	0 1 : バッファフル 数値のみ有効
		1	カンマ
	communications diagnostic mode flag	1 省略可能	0 1 : ダンプモード中 数値のみ有効
		1	カンマ
	partial format flag	1 省略可能	0 1 : コマンド 解析中 数値のみ有効
		1	カンマ
	unused	3 省略可能	000 数値のみ有効
		1	カンマ
	corrupt RAM flag	1 省略可能	0 1 数値のみ有効
		1	カンマ
	temperature range (Low)	1 省略可能	0 1 : 異常 数値のみ有効
		1	カンマ
	temperature range (High)	1 省略可能	0 1 : 異常 数値のみ有効
HS String2	function settings	3 省略可能	詳細は ZPL II 仕様書を参照。 ビット仕立てのデータを Desimaru Ascii にて送信。  例) 7bit 目が ON の場合 16進 : 0x80 → 10進 : 128 送信データは"128" 数値のみ有効
		1	カンマ
	unused	1 省略可能	0 数値のみ有効
		1	カンマ
	head up flag	1 省略可能	0: ヘッドクローズ 1: ヘッドオープン 数値のみ有効
		1	カンマ
	ribbon out flag	1 省略可能	0: 1: リボン切れ 数値のみ有効
		1	カンマ
	thermal transfer mode flag	1 省略可能	0: 1: Thermal 数値のみ有効
		1	カンマ

ZPLCommand	コメント文字列	バイト数	受信データ
	Print Mode	1 省略可能	0 = Rewind 1 = Peel-Off 2 = Tear-Off 3 = Cutter 4 = Applicator 5 = Delayed cut 6 = Reserved ** 7 = Reserved ** 数値のみ有効
		1	カンマ
	print width mode	1 省略可能	6 数値のみ有効
		1	カンマ
	label waiting flag	1 省略可能	0: 1:剥離待ち中 数値のみ有効
		1	カンマ
	labels remaining in batch	可変長 省略可能	残枚数 数値のみ有効
		1	カンマ
	format while printing flag	1 省略可能	1 数値のみ有効
		1	カンマ
	Number of graphic images stored in memory	可変長 省略可能	グラフィック保存数 数値のみ有効
HS String3	password	4 省略可能	"1234" 等 4 バイト固定
		1	カンマ
	static RAM	1 省略可能	0: 内蔵 RAM 非搭載 1: 内蔵 RAM 搭載 数値のみ有効
HQMA	HEAD REPLACEMENT INTERVAL	可変長 省略可能	50 数値のみ有効
		1	カンマ
	HEAD REPLACEMENT FREQUENCY	可変長 省略可能	0 数値のみ有効
		1	カンマ
	HEAD CLEANING INTERVAL	可変長 省略可能	0 数値のみ有効
		1	カンマ
	HEAD CLEANING FREQUENCY	可変長 省略可能	0 数値のみ有効
		1	カンマ
	PRINT REPLACEMENT ALERT	可変長 省略可能	"NO" MAX 63 バイト
		1	カンマ
	PRINT CLEANING ALERT	可変長 省略可能	"NO" MAX 63 バイト
		1	カンマ
	UNITS	可変長 省略可能	"I" MAX 63 バイト

ZPL Command	コメント文字列	バイト数	受信データ
HQMI	CLEAN MESSAGE	可変長 省略可能	“PLEASE CLEAN PRINT HEAD” MAX 63 バイト
		1	カンマ
HQOD	REPLACE MESSAGE	可変長 省略可能	“PLEASE REPLACE PRINT HEAD” MAX 63 バイト
	TOTAL NONRESETTABLE	可変長 省略可能	PRINT 距離 数値のみ有効
HQPH		1	カンマ
	USER RESETTABLE CNTR1	可変長 省略可能	PRINT 距離 数値のみ有効
		1	カンマ
HQES	USER RESETTABLE CNTR2	可変長 省略可能	PRINT 距離 数値のみ有効
	LAST CLEANED	可変長 省略可能	PRINT 距離 数値のみ有効
HQES		1	カンマ
	DISTANCE 1	可変長 省略可能	PRINT 距離 数値のみ有効
HQHA	ERRORS	文字列 19bytes	エラー情報 例) 1 00000000 0000000B 19byte に満たない場合は先頭スペース埋め 19byte 超過の場合は 20byte 目以降切捨て
		1	カンマ
HQJT	WARNINGS	文字列 19bytes	ワーニング情報 例) 1 00000000 00000001 19byte に満たない場合は先頭スペース埋め 19byte 超過の場合は 20byte 目以降切捨て
	MAC ADDRESS	文字列 17bytes	MAC アドレス情報 例) 12:34:56:78:90:AB 17byte に満たない場合は先頭スペース埋め 17byte 超過の場合は 18byte 目以降切捨て
HQPP	プリンタヘッドテスト情報	文字列 18bytes	プリンタヘッドテスト情報 例) 1, M, 0250, 1200, 0032 ※パラメータ 1 つのみの為、カンマも文字列情報として扱う 18byte に満たない場合は先頭スペース埋め 18byte 超過の場合は 19byte 目以降切捨て
	MFG	文字列 最大 30bytes	メーカー情報 30byte 超過の場合は 31byte 目以降切捨て
		1	カンマ

ZPLCommand	コメント文字列	バイト数	受信データ
	CMD	文字列 最大 30bytes	コマンド情報 30byte 超過の場合は 31byte 目以降切捨て
		1	カンマ
	USER RESETTABLE CNTR2	文字列 最大 30bytes	プリンタモデル情報 30byte 超過の場合は 31byte 目以降切捨て
HQSN	シリアルナンバー情報	文字列 最大 35bytes	プリンタシリアルナンバー情報 35byte 超過の場合は 36byte 目以降切捨て
HQUI	PID	文字列 4bytes	USB_PID 情報 4byte に満たない場合は先頭 0 埋め 4byte 超過の場合は 5byte 目以降切捨て
		1	カンマ
	RELEASE VERSION	文字列 5bytes	RELEASE VERSION 情報 5byte に満たない場合は先頭スペース埋め 5byte 超過の場合は 6byte 目以降切捨て

### 3.8. EMUL-S

#### 3.8.1. Init Value

EMUL-S 項目を選択した場合の画面/内容は下記となる。

項目名	内容	備考
Reset to Default	設定内容を破棄し工場出荷時の設定値に戻す ※ “Detected Ribbon Near End” と “Reprint” 設定はリセットの対象外	
Submit	プリンタのパラメータの設定値を更新する。 画面の設定が間違っていた場合、エラーメッセージが表示される。   確認画面から OK を押すと、更新が始まる。 更新が完了するとページ内容が更新される。	
Reset	各種パラメータをページ表示時に取得した設定値に戻す	

※ プリンタ側のモードが Emulation となっている場合は、強制的に TPCL モードに移行してダウンロードする。ダウンロード後は、TPCL モードのままとなるため使用するモードに変更すること。

## Chrome 例

**Web Utility**

- Maintenance
- Download
- Parameter Setting
- Tool
- EMUL-Z
- EMUL-S
- Init Value
- EMUL-D
- PDF Print
- Service

**Init Value**

Print configuration	Print method: Direct Thermal Printer Speed: 6(inch/sec) 150(mm/sec) Print motion: Tear Off Sensor type setting: GAP Darkness range: A Print Darkness: Level 5 Zero Slash: Enable Kanji Code: JIS code Kanji Mode: JIS X0208 Type face: Gothic Proportional pitch: Proportional pitch LCD Power Saving: 60	<b>Label configuration</b> Vertical Label Size: 11984 Horizontal Label Size: 832 Vertical Offset Value: 0 Horizontal Offset Value: 0 Continuous Offset: 0 Tear Off: 0 Cutter Offset: 0
<a href="#" style="color: inherit; text-decoration: none;">Reset to Default</a>		
<a href="#" style="color: inherit; text-decoration: none;">Submit</a> <span style="margin: 0 10px;"></span> <a href="#" style="color: inherit; text-decoration: none;">Reset</a>		

### 【Print configuration】

#### [Print Method]

工場出荷時	Thermal Transfer
設定範囲	Thermal Transfer, Direct Thermal

#### [Print Speed]

工場出荷時	5 inch/sec
設定範囲	3 inch/sec, 5 inch/sec, 8 inch/sec, 10 inch/sec, 12 inch/sec, 14 inch/sec

#### [Print Motion]

工場出荷時	Cutter
設定範囲	Cutter, Dispenser, Tear Off, Continuous, Cut While Printing

#### [Sensor type setting]

工場出荷時	GAP
設定範囲	Disable Sensor, GAP, I-MARK

#### [Darkness Range]

工場出荷時	A
設定範囲	A, B, C, D, E, F

[Print Darkness]

工場出荷時	Level 5
設定範囲	Level 1, Level 2, Level 3, Level 4, Level 5, Level 6, Level 7, Level 8, Level 9, Level 10

[Zero Slash]

工場出荷時	Enable
設定範囲	Disable, Enable

[Kanji Code]

工場出荷時	JIS code
設定範囲	JIS code, Shift JIS code, Unicode (UTF-16), GB18030

[Kanji Mode]

工場出荷時	JIS X0208
設定範囲	JIS X0208 Compatible, JIS X0208, JIS X0213, GB18030

[Type face]

工場出荷時	Gothic
設定範囲	Gothic, Mincho

[Proportional pitch]

工場出荷時	Proportional pitch
設定範囲	Fixed pitch, Proportional pitch

[LCD Power Saving]

工場出荷時	15 min
設定範囲	1 to 120 min (BX410/420/610/620) 1 to 60 min (BX430)

[Show total No of labels to print]

工場出荷時	Disable
設定範囲	Disable, Enable

[Automatic measurement of label]

工場出荷時	Disable
設定範囲	Disable, Enable

[Detected Ribbon Near End]

工場出荷時	Disable
設定範囲	Disable, 30m, 70m

[Reprint]

工場出荷時	Disable
設定範囲	Disable, Enable

[Ribbon Save Enable]

工場出荷時	Auto
設定範囲	Auto, Disable

【Label configuration】

[Vertical Label Size]

工場出荷時	17676
設定範囲	48 ~ 17976 dots

[Horizontal Label Size]

工場出荷時	1248
設定範囲	120 ~ 1248 dots

[Vertical Offset Value]

工場出荷時	0
設定範囲	-792 ~ 792 dots

[Horizontal Offset Value]

工場出荷時	0
設定範囲	-792 ~ 792 dots

[Continuous Offset]

工場出荷時	0
設定範囲	-99 ~ 99 dots

[Tear Off]

工場出荷時	0
設定範囲	-99 ~ 99 dots

[Cutter Offset]

工場出荷時	0
設定範囲	-99 ~ 99 dots



### 3.9. EMUL-D

#### 3.9.1. Init Value

EMUL-D 項目を選択した場合の画面/内容は下記となる。

項目名	内容	備考
Reset to Default	設定内容を破棄し工場出荷時の設定値に戻す	
Submit	プリンタのパラメータの設定値を更新する。 画面の設定が間違っていた場合、エラーメッセージが表示される。  確認画面から OK を押すと。更新が始まる。 更新が完了するとページ内容が更新される。	
Reset	各種パラメータをページ表示時に取得した設定値に戻す	

※ プリンタ側のモードが Emulation となっている場合は、強制的に TPCL モードに移行してダウンロードする。ダウンロード後は、TPCL モードのままとなるため使用するモードに変更すること。

## Chrome 例

**Web Utility**

- Maintenance
- Download
- Parameter Setting
- Tool
- EMUL-Z
- EMUL-S
- EMUL-D
- Init Value
- Response Command
- PDF Print
- Service

Init Value	
Backup (Reverse) Speed	3.0 ips
British Pound	Disable
Column Offset	0.00
Comm Heat Commands	Enable
Comm Speed Commands	Enable
Comm TOF Commands	Enable
Continuous Label Length	7.00
Control Codes	Standard
Cutter Equipped	Auto
Disable Symbol Set Selection	Disable
Feed Speed	5.0 ips
Feedback Mode	Disable
Format Attributes	XOR
Heat	10
Label Rotation	None
Label Width	4.09
Reset to Default	
Submit      Reset	

[Backup (Reverse) Speed]

工場出荷時	3 inch/sec
設定範囲	2 inch/sec, 3 inch/sec

[British Pound]

工場出荷時	Disable
設定範囲	Disable, Enable

[Column Offset]

工場出荷時	0.00
設定範囲	0.00 - 4.09 (BX410, BX420, BX430) 0.00 - 6.30 (BX610, BX620)

[Comm Heat Commands]

工場出荷時	Enable
設定範囲	Disable, Enable

[Comm Speed Commands]

工場出荷時	Enable
設定範囲	Disable, Enable

[Comm TOF Commands]

工場出荷時	Enable
設定範囲	Disable, Enable

[Continuous Label Length]

工場出荷時	7.00
設定範囲	0.40 - 59.06 (BX410, BX420, BX610, BX620) 0.20 - 19.69 (BX430)

[Control Codes]

工場出荷時	Standard
設定範囲	Standard, Alternate, Alternate-2

[Cutter Equipped]

工場出荷時	Auto
設定範囲	Auto, Enable, Disable

[Disable Symbol Set Selection]

工場出荷時	Disable
設定範囲	Disable, Enable

[Feed Speed]

工場出荷時	3 inch/sec (BX430) 5 inch/sec (BX410 305dpi, BX420 300dpi, BX610, BX620) 6 inch/sec (BX410 203dpi, BX420 203dpi)
設定範囲	3 inch/sec, 6 inch/sec, 10 inch/sec, 12 inch/sec, 14 inch/sec (BX410 203dpi) 3 inch/sec, 5 inch/sec, 8 inch/sec, 10 inch/sec, 12 inch/sec, 14 inch/sec (BX410 305dpi) 3 inch/sec, 6 inch/sec, 10 inch/sec, 12 inch/sec (BX420 203dpi) 3 inch/sec, 5 inch/sec, 8 inch/sec, 10 inch/sec, 12 inch/sec (BX420 300dpi, BX610, BX620) 2 inch/sec, 3 inch/sec, 4 inch/sec, 5 inch/sec, 6 inch/sec (BX430)

[Feedback Mode]

工場出荷時	Disable
設定範囲	Disable, Enable

[Format Attributes]

工場出荷時	XOR
設定範囲	XOR, Transparent

[Heat]

工場出荷時	10
設定範囲	0 – 30

[Label Rotation]

工場出荷時	None
設定範囲	Rotate 180, None

[Label Width]

工場出荷時	4.09 (BX400) 6.30 (BX600)
設定範囲	0.75 – 4.09 (BX400) 0.75 – 6.30 (BX600)

[Maximum Length Ignore]

工場出荷時	Normal Processing
設定範囲	Normal Processing, Ignore

[Maximum Length]

工場出荷時	8.00
設定範囲	0.40 – 59.06 (BX410, BX420, BX610, BX620) 0.20 – 19.69 (BX430)

[Media Type] BX420 D モデルでは非表示

工場出荷時	Thermal Transfer
設定範囲	Direct, Thermal Transfer

[Peel Mode]

工場出荷時	Disable
設定範囲	Disable, Enable

[Present Distance]

工場出荷時	0.00
設定範囲	0.00 – 4.00

[Present Sensor Equipped]

工場出荷時	Auto
設定範囲	Auto, Enable, Disable

[Print Speed]

工場出荷時	3 inch/sec (BX430) 5 inch/sec (BX410 305dpi, BX420 300dpi, BX610, BX620) 6 inch/sec (BX410 203dpi, BX420 203dpi)
設定範囲	3 inch/sec, 6 inch/sec, 10 inch/sec, 12 inch/sec, 14 inch/sec (BX410 203dpi) 3 inch/sec, 5 inch/sec, 8 inch/sec, 10 inch/sec, 12 inch/sec, 14 inch/sec (BX410 305dpi) 3 inch/sec, 6 inch/sec, 10 inch/sec, 12 inch/sec (BX420 203dpi) 3 inch/sec, 5 inch/sec, 8 inch/sec, 10 inch/sec, 12 inch/sec (BX420 300dpi, BX610, BX620) 2 inch/sec, 3 inch/sec, 4 inch/sec, 5 inch/sec, 6 inch/sec (BX430)

[Ribbon Save Enable] BX410, BX610 のみ

工場出荷時	Auto
設定範囲	Auto, Disable

[Row Offset]

工場出荷時	0.00
設定範囲	0.00 - 59.06 (BX410, BX420, BX610, BX620) 0.00 - 19.69 (BX430)

[SOP Emulation]

工場出荷時	Disable
設定範囲	Allegro, Prodigy Plus, Prodigy, Disable

[Sensor Type]

工場出荷時	Gap (edge)
設定範囲	Gap (edge), Continuous, Reflective

[Single Byte Symbol Set]

工場出荷時	PM
設定範囲	E9, PE, PG, PM, PR, PT, U8, WT

[Software Switch]

工場出荷時	Processed
設定範囲	Processed, Ignore

[Unit of Measure]

工場出荷時	Imperial
設定範囲	Metric, Imperial

### 3.9.2. Response Command

EMUL-D コマンドに対する応答データを設定する。

項目名	内容	備考
Reset to Default	設定内容を破棄し工場出荷時の設定値に戻す	
Submit	<p>プリンタのパラメータの設定値を更新する。 画面の設定が間違っていた場合、エラーメッセージが表示される。</p>  <p>確認画面から OK を押すと、更新が始まる。 更新が完了するとページ内容が更新される。</p>	
Reset	各種パラメータをページ表示時に取得した設定値に戻す	

※ プリンタ側のモードが Emulation となっている場合は、強制的に TPCL モードに移行してダウンロードする。ダウンロード後は、TPCL モードのままとなるため使用するモードに変更すること。

## Chrome 例

**Web Utility**

- Maintenance**
- Download
- Parameter Setting
- Tool
- EMUL-Z
- EMUL-S
- EMUL-D
- Init Value
- Response Command**
- PDF Print
- Service

Response Command	None	Top of Form Fault	None
Paper out or fault	None	Ribbon Low	None
Ribbon out or fault	None	Ready (no data or signal)	None
Printing batch	None	Com1 has data not parsed	None
Busy printing	None		
Printer paused	None		
Label presented	None		
Cutter Fault	None		
Paper Out	None		

Reset to Default
Submit
Reset

[Interpreter busy (imaging)]

工場出荷時	None
設定範囲	None, Yes, No

[Paper out or fault]

工場出荷時	None
設定範囲	None, Yes, No

[Ribbon out or fault]

工場出荷時	None
設定範囲	None, Yes, No

[Printing batch]

工場出荷時	None
設定範囲	None, Yes, No

[Busy printing]

工場出荷時	None
設定範囲	None, Yes, No

[Printer paused]

工場出荷時	None
-------	------

設定範囲	None, Yes, No
------	---------------

[Label Presented]

工場出荷時	None
設定範囲	None, Yes, No

[Cutter Fault]

工場出荷時	None
設定範囲	None, Yes, No

[Paper Out]

工場出荷時	None
設定範囲	None, Yes, No

[Top of Form Fault]

工場出荷時	None
設定範囲	None, Yes, No

[Ribbon Low]

工場出荷時	None
設定範囲	None, Yes, No

[Ready (no data or signal)]

工場出荷時	None
設定範囲	None, Yes, No

[Com 1 has data not parsed]

工場出荷時	None
設定範囲	None, Yes, No

### 3.10. EMUL-I (L1.2 以降)

#### 3.10.1. Init Value

EMUL-I 項目を選択した場合の画面/内容は下記となる。

項目名	内容	備考
Reset to Default	設定内容を破棄し工場出荷時の設定値に戻す	
Submit	プリンタのパラメータの設定値を更新する。 画面の設定が間違っていた場合、エラーメッセージが表示される。   確認画面から OK を押すと。更新が始まる。 更新が完了するとページ内容が更新される。	
Reset	各種パラメータをページ表示時に取得した設定値に戻す	

※ プリンタ側のモードが Emulation となっている場合は、強制的に TPCL モードに移行してダウンロードする。ダウンロード後は、TPCL モードのままとなるため使用するモードに変更すること。

## Chrome 例

**Web Utility**

- Maintenance
- Download
- Parameter Setting
- Tool
- EMUL-Z
- EMUL-S
- EMUL-D
- EMUL-I
- Init Value
- PDF Print
- Service

Init Value	
Media Type	Media With Gaps
Print Method	Ribbon
Print Speed	5 Inch/sec
Media Length	7983
Media Width	832
X Origin	0 dots
Y Origin	0 dots
Code Page	Code Page 850
Darkness	50

### [Media Type]

工場出荷時	Media With Gaps
設定範囲	Black Mark, Continuous Fix Len, Continuous Var Len, Media With Gaps

### [Print Method]

工場出荷時	Ribbon
設定範囲	Ribbon, No Ribbon

### [Print Speed]

工場出荷時	3 inch/sec (BX430) 5 inch/sec (BX410 305dpi, BX420 300dpi, BX610, BX620) 6 inch/sec (BX410 203dpi, BX420 203dpi)
設定範囲	3 inch/sec, 6 inch/sec, 10 inch/sec, 12 inch/sec, 14 inch/sec (BX410 203dpi) 3 inch/sec, 5 inch/sec, 8 inch/sec, 10 inch/sec, 12 inch/sec, 14 inch/sec (BX410 305dpi) 3 inch/sec, 6 inch/sec, 10 inch/sec, 12 inch/sec (BX420 203dpi) 3 inch/sec, 5 inch/sec, 8 inch/sec, 10 inch/sec, 12 inch/sec (BX420 300dpi, BX610, BX620)

	2 inch/sec, 3 inch/sec, 4 inch/sec, 5 inch/sec, 6 inch/sec (BX430)
--	---

[Media Length]

工場出荷時	1200
設定範囲	48 - 11784 (BX410, BX420, BX610, BX620) 48 - 7858 (BX430)

[Media Width]

工場出荷時	831
設定範囲	80 - 1249 (BX410) 80 - 1228 (BX420) 236 - 2456 (BX430) 80 - 1921 (BX610, BX620)

[X Origin]

工場出荷時	0 dots
設定範囲	-30 ~ 30 dots

[Y Origin]

工場出荷時	0 dots
設定範囲	-30 ~ 30 dots

[Code Page]

工場出荷時	Code Page 850
設定範囲	U. S. A., United Kingdom, Germany, Denmark, France, Sweden, Italy, Spain, 8-Bit ASCII, Switzerland, Code Page 850, Code Page 1250 Central Europe, Code Page 1251 Cyrillic Russian, Code Page 1252 Latin 1 Western Europe, Code Page 1253 Greek, Code Page 1254 Turkish, Code Page 1255 Hebrew, Code Page 1256 Arabic, Code Page 1257 Baltic Rim, Code Page 1258 Vietnamese, Code Page 874 Thai, Code Page 932 Shift JIS Japanese, Code Page 936 GB 2312-80 Simplified Chinese, Code Page 949 KSC5601 Korean Hangeul, Code Page 950 Big 5 Traditional Chinese, UTF-8

[Darkness]

工場出荷時	50
設定範囲	1 ~ 100

[Zero Slash]

工場出荷時	Disable
設定範囲	Disable, Enable

[Calibration Mode]

工場出荷時	Disable
設定範囲	Disable, Enable

[Cutter]

工場出荷時	Disable
設定範囲	Disable, Enable

[Label Taken Sensor]

工場出荷時	Disable
設定範囲	Disable, Enable

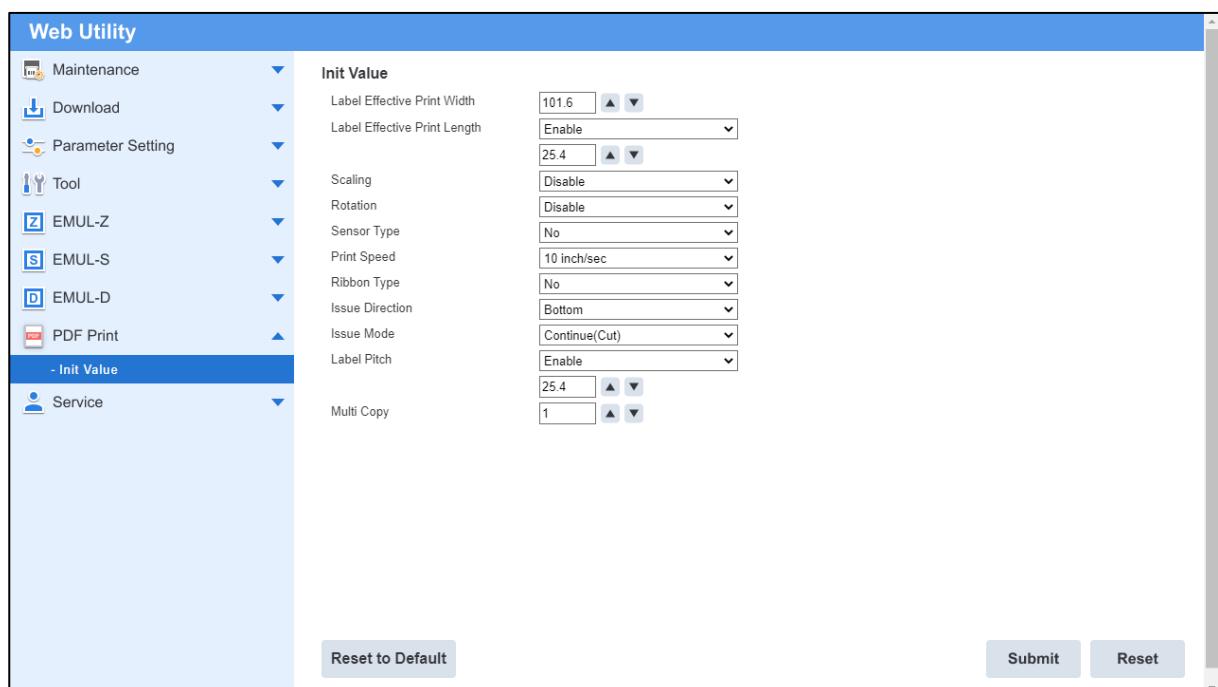
### 3.11. PDF Print

#### 3.11.1. Init Value

PDF Print 項目を選択した場合の画面/内容は下記となる。

項目名	内容	備考
Reset to Default	設定内容を破棄し工場出荷時の設定値に戻す	
Submit	プリンタのパラメータの設定値を更新する。 画面の設定が間違っていた場合、エラーメッセージが表示される。  確認画面から OK を押すと、更新が始まる。 更新が完了するとページ内容が更新される。	
Reset	各種パラメータをページ表示時に取得した設定値に戻す	

※ プリンタ側のモードが Emulation となっている場合は、強制的に TPCL モードに移行してダウンロードする。ダウンロード後は、TPCL モードのままとなるため使用するモードに変更すること。



#### [Label Effective Print Width]

工場出荷時	101.60
設定範囲	10.00～104.00

#### [Label Effective Print Length]

工場出荷時	Disable
設定範囲	Disable, Enable

上記設定が Enable の場合のみ以下設定の入力フォームが表示される。

工場出荷時	25.40
設定範囲	25.40～1000.00

[Scaling]

工場出荷時	Disable
設定項目	Disable, Fit, Fit(Scale down only)

[Rotation]

工場出荷時	Disable
設定項目	Disable, Enable

[Sensor Type]

工場出荷時	No
設定項目	No, Reflective, Transmissive, Transmissive(Manual Threshold), Reflective(Manual Threshold)

[Print Speed]

工場出荷時	5 inch/sec
設定項目	3 inch/sec, 5 inch/sec, 8 inch/sec, 10 inch/sec, 12 inch/sec, 14 inch/sec

[Ribbon Type] BX420 D モデルでは非表示

工場出荷時	No
設定項目	No, Yes

[Issue Direction]

工場出荷時	Bottom
設定項目	Bottom, Top, Bottom(Mirror), Top(Mirror)

[Issue Mode]

工場出荷時	Continuous(Cut)
設定項目	Continuous(Cut), None, Tear off (Mode D), Tear off (Mode E), Continuous(Rewinder)

[Label Pitch]

工場出荷時	Disable
設定範囲	Disable, Enable

上記設定が Enable の場合のみ以下設定の入力フォームが表示される。

工場出荷時	25.40
-------	-------

設定範囲	25.40～1000.00 (BX410, BX420, BX610, BX620) 25.40～498.00 (BX430)
------	--

[Multi Copy]

工場出荷時	1
設定範囲	1～9999

## 3.12. Service Menu

### 3.12.1. Standard

Chrome 例

The screenshot shows the 'Web Utility' interface for the 'Standard' configuration. The left sidebar lists various menu items like Maintenance, Download, Parameter Setting, Tool, EMUL-Z, EMUL-S, EMUL-D, PDF Print, and Service. Under 'Service', 'Standard' is selected, which is highlighted in blue. The main panel contains several configuration sections: 'Product' (Printer Serial No: xxxxxxxxxxxx), 'Position Adjustment' (Feed Adjustment Method: Standard), 'RTC' (Date: 2023 Y 01 M 02 D, Time: 15 H 34 M 12 S, Time Zone: (GMT) Greenwich Mean Time: D), 'Kanji Font' (Kanji Font: Standard), 'Import Error Mapping' (Select File: No file chosen, Import button), and 'eCC' settings (Enable eCC: Disable, Proxy Server: Disable, Proxy Server IP Address: [empty], Proxy Server Port Number: 80, URL Transfer: Enable, Download Total Time: 8, Download Retry Interval: 5, Download Number of Retry: 3, Connection Timeout: 20). At the bottom right are 'Submit' and 'Reset' buttons.

#### 【Product】

[Printer Serial No]

プリンタにシリアル番号を設定する。

工場出荷時	(一意の値)
設定範囲	0~32 文字

#### 【Position Adjustment】 L1.1 以降

[Feed Adjustment Method]

工場出荷時	Standard
設定項目	Standard, Compatible

#### 【RTC】

[Date]

RTC モジュールの現在の日付を設定する。

工場出荷時	(現在の日付)
設定範囲	

[Time]

RTC モジュールの現在の時刻を設定する。

工場出荷時	(現在の時刻)
設定範囲	

[Time Zone]

Time Zone を設定する。

工場出荷時	(仕向け毎に異なる)
設定範囲	<p>(GMT-12:00) Ewinotek, Kwajalein, (GMT-11:00) Midway Island, Samoa, (GMT-10:00) Hawaii, (GMT-9:00) Alaska, (GMT-8:00) Pacific Time (US &amp; Canada); Tijuana, (GMT-7:00) Arizona, (GMT-7:00) Mountain Time (US &amp; Canada), (GMT-6:00) Saskatchewan, (GMT-6:00) Mexico City, Tegucigalpa, (GMT-6:00) Central America, (GMT-6:00) Central Time (US &amp; Canada), (GMT-5:00) Indiana (East), (GMT-5:00) Bogota, Lima, Quito, (GMT-5:00) Eastern Time (US &amp; Canada), (GMT-4:00) Caracas, La Paz, (GMT-4:00) Santiago, (GMT-4:00) Atlantic Time (Canada), (GMT-3:30) Newfoundland, (GMT-3:00) Greenland, (GMT-3:00) Buenos Aires, Georgetown, (GMT-3:00) Brasilia, (GMT-2:00) Mid-Atlantic, (GMT-1:00) Azores, Cape Verde Is., (GMT) Casablanca, Monrovia, (GMT) Greenwich Mean Time: Dublin, Edinburgh, Lisbon, London, (GMT+1:00) Amsterdam, Berlin, Bern, Rome, Stockholm, Vienna, (GMT+1:00) Sarajevo, Skopje, Warsaw, Zagreb, (GMT+1:00) Brussels, Copenhagen, Madrid, Paris, (GMT+1:00) Belgrade, Bratislava, Budapest, Ljubljana, Prague, (GMT+1:00) West Central Africa, (GMT+2:00) Athens, Istanbul, Minsk, (GMT+2:00) Israel, (GMT+2:00) Cairo, (GMT+2:00) Harare, Pretoria, (GMT+2:00) Bucharest, (GMT+2:00) Helsinki, Riga, Tallinn, Sofija, Vilnius, (GMT+3:00) Baghdad, Kuwait, Riyadh, (GMT+3:00) Nairobi, (GMT+3:00) Moscow, St. Petersburg, Volgograd, (GMT+3:30) Tehran, (GMT+4:00) Abu Dhabi, Muscat, (GMT+4:00) Baku, Tbilisi, (GMT+4:30) Kabul, (GMT+5:00) Islamabad, Karachi, Tashkent, (GMT+5:00) Ekaterinburg, (GMT+5:30) Bombay, Calcutta, Chennai, New Delhi, Colombo, (GMT+6:00) Astana, Dhaka, (GMT+6:00) Almaty, Novosibirsk, (GMT+6:00) Sri Jayawardeneputra, (GMT+6:30) Rangoon, (GMT+7:00) Krasnoyarsk, (GMT+7:00) Bangkok, Hanoi, Jakarta, (GMT+8:00) Irkutsk, Ulaan Bataar, (GMT+8:00) Kuala Lumpur, Singapore, (GMT+8:00) Perth, (GMT+8:00) Taipei, (GMT+8:00) Beijing, Chongqing, Hong Kong, Urumqi, (GMT+9:00) Seoul, (GMT+9:00) Yakutsk, (GMT+9:00) Osaka, Sapporo, Tokyo, (GMT+9:30)</p>

	Adelaide, (GMT+9:30) Darwin, (GMT+10:00) Vladivostok, (GMT+10:00) Canberra, Melbourne, Sydney, (GMT+10:00) Guam, Port Moresby, (GMT+10:00) Brisbane, (GMT+10:00) Hobart, (GMT+11:00) Magadan, Solomon Is., New Caledonia, (GMT+12:00) Wellington, Auckland, (GMT+12:00) Fiji, Kamchatka, Marshall Is., (GMT+13:00) Nuku'alofa
--	---

#### 【Kanji Font】

##### [Kanji Font]

漢字フォントの仕様 標準または既存を設定する。

工場出荷時	Standard
設定範囲	Standard, Oldie

#### 【Import Error Mapping】

エラー発生時に表示する URL のマッピングファイルをインポートする。

#### 【eCC】

##### [Enable eCC]

eCC 機能を有効にするかを設定する。

工場出荷時	Disable
設定範囲	Disable, Enable

##### [Proxy Server]

eCC 機能有効時にプロキシサーバーを利用するかを設定する。

工場出荷時	Disable
設定範囲	Disable, Enable

##### [Proxy Server IP Address]

プロキシサーバーの IP アドレスを設定する。

工場出荷時	0.0.0.0
設定範囲	最大 128 文字

##### [Proxy Server Port Number]

プロキシサーバーのポート番号を設定する。

工場出荷時	80
設定範囲	1～65534

##### [Proxy Server Account]

プロキシサーバーのアカウント名を設定する。

工場出荷時	
-------	--

設定範囲	最大 30 文字
------	----------

[Proxy Server Password]

プロキシサーバーのパスワードを設定する。

工場出荷時	
設定範囲	最大 30 文字

[Initial Access URL]

eCC 接続時の初回登録 URL を設定する。

工場出荷時	
設定範囲	最大 259 文字

[URL Transfer]

URL 転送を許可するかを設定する。

工場出荷時	Enable
設定範囲	Disable, Enable

[Download Total Time]

eCC によるファームウェアダウンロードの総時間を設定する。

工場出荷時	8
設定範囲	1 ~ 24

[Download Retry Interval]

eCC によるファームウェアダウンロードのリトライ間隔を設定する。

工場出荷時	5
設定範囲	1 ~ 20

[Download Number of Retry]

eCC によるファームウェアダウンロードのリトライ回数を設定する。

工場出荷時	3
設定範囲	1 ~ 20

[Connection Timeout]

eCC の接続タイムアウト時間を設定する。

工場出荷時	20
設定範囲	10 ~ 120

### 3.12.2. Device

Web Utility

- Maintenance
- Download
- Parameter Setting
- Tool
- EMUL-Z
- EMUL-S
- EMUL-D
- PDF Print
- Service
  - Standard
  - Device
  - Wireless LAN
  - RFID

Device

USB

USB Serial ID

Disable

xxxxxxxxxx

Submit Reset

#### 【USB】

##### [USB Serial ID]

USB のシリアル番号を有効にするか否かを設定する。

無効にした場合、USB ポートに対して接続が確立される。

USB ポートを変えるたびにプリンタドライバのインストールが発生する。

有効にした場合、表示されたシリアル番号に対して接続が確立される。

シリアル番号ごとにプリンタドライバのインストールが発生する。

工場出荷時	Disable
設定項目	Disable, Enable

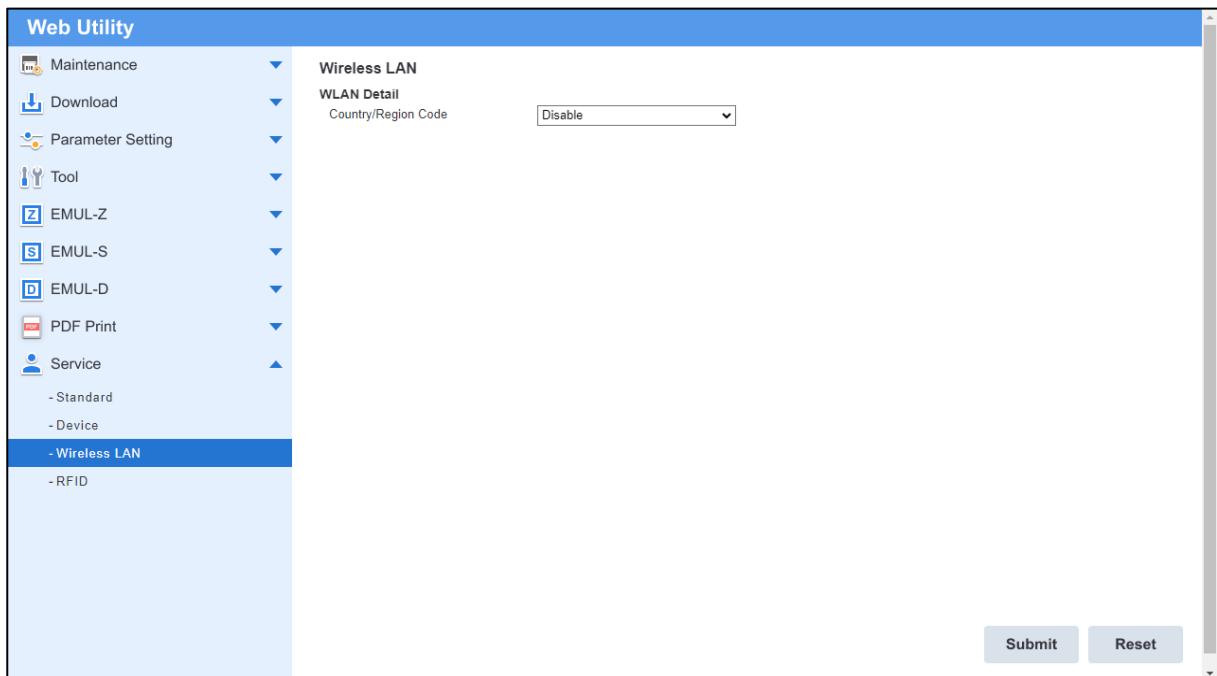
##### [USB Serial No]

製造番号等任意のコード 12 行固定で設定する。大文字 [A-Z]、数字 [0-9]、スペースのみが入力可能

工場出荷時	
設定範囲	12 文字

### 3.12.3. Wireless LAN

ジョブが存在している場合は Submit できない



#### 【WLAN Detail】

[Country/Region Code]

カントリーコードを設定する。

工場出荷時	Disable
設定範囲	Disable, JPN, USA, CAN, AUS, NZL, MEX, RSA, CHN, HKG, TPE, KOR, BEL, NED, LUX, FRA, ITA, GER, DEN, IRL, GBR, GRE, ESP, POR, AUT, FIN, SWE, CZE, EST, CYP, LAT, LTU, HUN, MLT, POL, SLO, SVK, BUL, ROU, CRO, NOR, LIE, SUI, ISL, TUR, ARG, MAS, THA, SGP, IND, BRA, CHI, MAR

#### 3.12.4. RFID

**Web Utility**

- Maintenance
- Download
- Parameter Setting
- Tool
- EMUL-Z
- EMUL-S
- EMUL-D
- PDF Print
- Service
  - Standard
  - Device
  - Wireless LAN
- RFID

**RFID**

**Module**

Country Code

**Tag Check**

Error Tag Detection

Access Password

AUTO UNLOCK

Password

New Password

### 【Module】

#### [Country Code]

仕様国を設定する。

※選択肢と初期値は RFID モジュールによって異なる。以下記載は一例。

工場出荷時	US
設定範囲	US, CN2, KR2, TW, HK, SG, MY, ID, TH, MX

### 【Tag Check】

#### [Error Tag Detection]

エラータグ検出を設定する。

工場出荷時	Disable
設定範囲	Disable, Enable(ID), Enable(Access Password)

#### [Access Password]

アクセスパスワードを設定する。

工場出荷時	00000001
設定範囲	00000001～FFFFFF (8 文字)

#### [AUTO UNLOCK]

AUTO UNLOCK を設定する。

工場出荷時	Disable
設定範囲	Disable, Enable

#### [Password]

パスワードの設定を行うかを設定する。

工場出荷時	Disable
設定範囲	Disable, Enable

[New Password]

変更するパスワードを設定する。

工場出荷時	
設定範囲	0000～FFFF (4 文字)

## 4. USB I/Fによる WebUtility 接続

### 4.1. プリンタの設定

システムモードで「USB 経由 Web ユーティリティ」設定を有効に変更してください。

操作手順)

システムモードを起動。

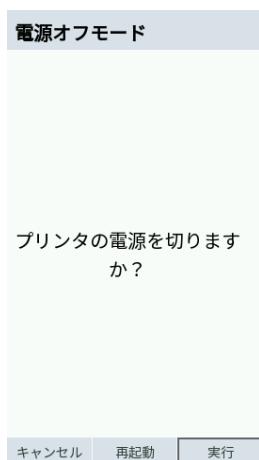
6. INTERFACE 設定を開き、USB→USB 経由 Web ユーティリティ設定を開きます。

設定を「有効」に変更してください。



設定を変更後、プリンタを再起動してください。

Power ボタンを押下し、再起動を選択してください。



### 4.2. PC の設定

Windows の標準の状態では、USB I/F で仮想ネットワークに接続するための NDIS ドライバが有効になっていません。接続するためには NDIS ドライバを有効にする必要があります。

3 つのファイルを含んだ「InfCatInstall」フォルダが提供されます。

1) 「InfCatInstall」フォルダを適当なディレクトリに保存します。

※C ドライブ直下を推奨します。

- 2) 「InfCatInstall」 フォルダには以下 3 つのファイルが保存されています。  
 "rndis\_ttec\_\*\*\*\*. bat"を管理者権限で開いてください。  
 ※\*\*\*\*はバッチファイルのバージョンになります。画像は 6010 のものです。

名前	更新日時	種類	サイズ
rndis_ttec_6010.bat	2024/04/17 13:49	Windows パッチ ファイル	1 KB
rndis_ttec_6010.cat	2024/04/16 16:39	セキュリティ カタログ	11 KB
rndis_ttec_6010.inf	2024/04/16 10:34	セットアップ 情報	3 KB

- 3) "rndis\_ttec\_\*\*\*\*. bat"を開くとコマンドプロンプトが表示され bat ファイルの内容が実行されます。  
 初回インストール時に以下の画像のようなダイアログが表示される場合があります。インストールを選択してください。  
 ※「Toshiba Tec Corporation からのソフトウェアを常に信頼する」にチェックすると、次回以降インストールする際にダイアログは表示されません。



- 4) インストールが正しく実行されると以下の画面のように"パッケージが正常に追加されました"と表示されます。  
 また、これらの表示内容は"Install\_output.txt"として「InfCatInstall」 フォルダ直下に保存されます。  
 ※赤塗りつぶし箇所は inf ファイルのバージョン、黄塗りつぶし箇所は PC によって自動で割り振られる番号が表示されます。  
 ※既に InfCat ファイルがインストール済みである PC に再度インストール(アップデート)すると"既にシステムに存在します"と表示されます。

[インストール時画面]

```
C:\WINDOWS\System32\cmd.exe
Microsoft PnP ユーティリティ

ドライバー パッケージの追加: rndis_ttec [REDACTED].inf
ドライバー パッケージが正常に追加されました。
公開名: [REDACTED].inf
ドライバー パッケージがデバイスにインストールされました: USB\VID_08A6&PID_B006&MI_00\6&3b4303ff&0&0000

ドライバー パッケージの合計: 1
追加されたドライバー パッケージ: 1
続行するには何か)キーを押してください . . .
```

#### 4.3. ブラウザの設定

USB I/F で接続する場合の IP アドレスは固定で下記のアドレスに設定されます。

ブラウザの URL 入力バーに下記を入力してください。

接続アドレス（固定）：

<http://169.254.10.10>

WebUtility を USB I/F で接続して使用する際は、IP アドレスは仮想の IP アドレスとなります。

LCD に表示される IP アドレスではなく、169.254.10.10 を使用して下さい。